

---

旧第一銀行熊本支店  
再利用に関する提言書

---

**Reincarnation**

熊本まちなみトラスト



---

---

# 1

---

旧第一銀行熊本支店

## 社屋の概要

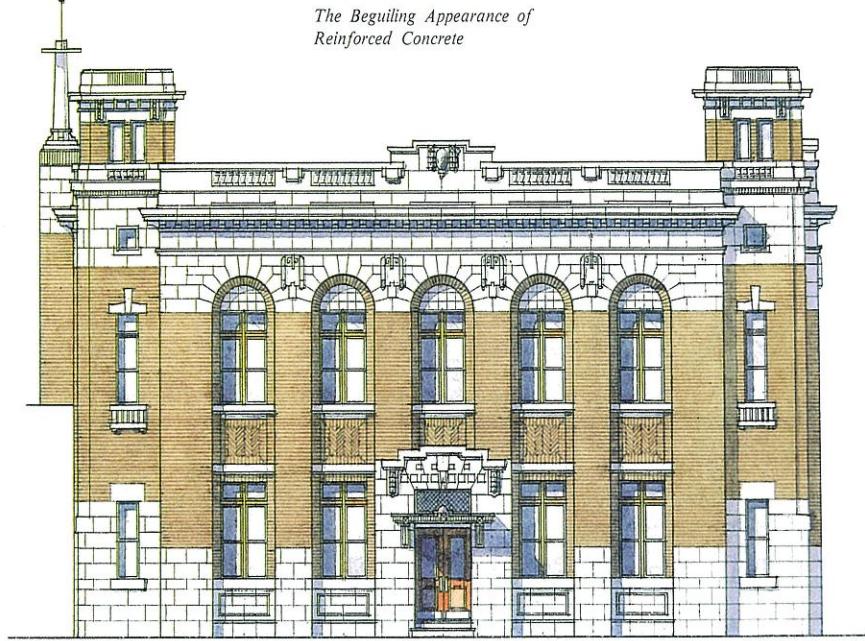
---

第一銀行熊本支店(現 熊本中央信用金庫唐人町支店)  
熊本市、鉄筋コンクリート造、地上2階・地下1階、大正8年竣工

◎図面ウォッチング其之十

## 鉄筋コンクリートの 掘り出し物

*The Beguiling Appearance of  
Reinforced Concrete*



大正8年に完成した熊本の第一銀行の支店で、構造は鉄筋コンクリート造である。と、この建物の身元を紹介して、さて読者の皆さん、けげんに思われたでしょうか。ポイントは、鉄筋コンクリート。これのいったいどこが鉄筋コンクリートらしいというのか？

外観は、腰壁までと軒の辺りが石造で、中間部分は煉瓦造に見える。今も昔ながらに建つ実物では見落としやすいが、図面の方を見ていただくと分かるよう、石の部分はちゃんと石らしく目地（めじ）石と石との積み目）が切られているし、煉瓦の部分も、1階と2階の窓の間の壁面は煉瓦を斜めに傾けて装飾性豊かな積み方をしている。

眺めたかぎり、石造・煉瓦造と映るが、人も建物も外観だけで判断するのは良くないから、図面でチェックしてみよう。何をチェックするかというと、壁体の

厚み。鉄筋コンクリートは強力だから煉瓦造や石造（石そのものは強いが、目地が弱く地震によって崩れやすい）にくらべずっと薄い壁厚でいいはずだ。図面に記された尺のスケールを断面図の壁に当てがってみると、およそ3尺。つまり90センチ。畳一枚の巾。起きて半畳、寝て一畳。この銀行の壁は中で人が寝られるだけの厚みを持っている。これは寝台壁か。

外から見ても、図面でチェックしても、どうに、石の部分はちゃんと石らしく目地（めじ）石と石との積み目）が切られていが、しかし、記録によるところなのである。

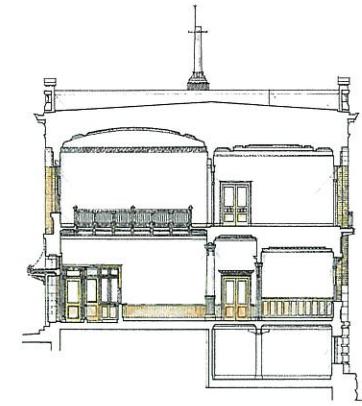
いったいどうしたというのだろうか。ここで、改めて身元を確かめると、生まれが大正8年であることが分かる。関東大震災の前。このことは決定的で、大正12年以前には鉄筋コンクリートは例外的にしか使われていない。例えば大正3年完成の東京駅の場合、当初は鉄筋コン

クリートを予定したが、鉄筋が錆びることへの不安がぬぐいきれず（実際はコンクリートの中のアルカリ成分によって錆びない）、鉄骨・煉瓦造へと変更されている。東京ですらこうなのだから、この建物以前熊本には鉄筋コンクリート造はなかった。関東大震災で強さが実証されるまで、鉄筋コンクリートについては誰もが一抹の不安をぬぐいきれないまま使っていた。

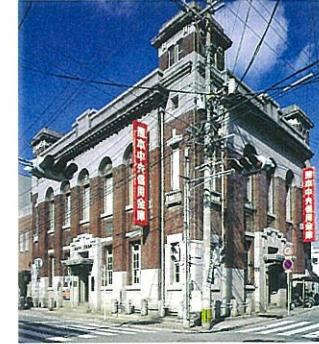
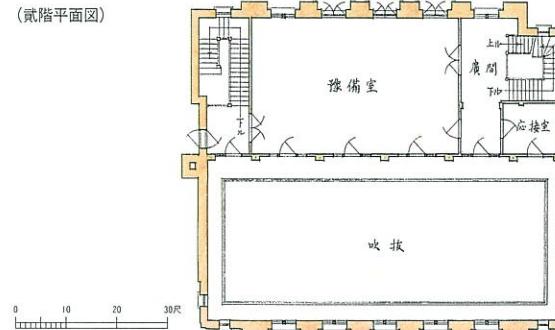
大正8年の熊本では、鉄筋コンクリート造といえど、それまでの煉瓦造・石造と同じ厚さにするのが大人の判断というものだった。

とはいって、鉄筋コンクリートの強さがまったく生かされていない、というわけではない。貯蔵平面図を見ていただくと分かるように、壁体は外周だけで中に構造体はつくられていない。スケールであたると壁と壁の間隔は54尺つまり長さ16

(横断面図)



(貯蔵平面図)



第一銀行熊本支店は、当時、熊本市の中心として栄えていた唐人町に建てられた市内最初の本格的鉄筋コンクリート造の建物。現在は熊本中央信用金庫として利用されている

藤森照信 Terunobu Fujimori

ふじもり・てるのぶ  
1946年長野県茅野市に生まれる。東京大学大学院工学系研究科建築学専門課程修了。建築学専攻。工学博士。東京大学生産技術研究所助教授。著書に『建築探偵の冒険—東京篇』(筑摩書房)他。

that the steel bars might rust. (In reality, rusting is prevented by alkali components of concrete.) So, prior to the Great Kanto Earthquake, it was not unusual for RC buildings to have a wall thickness indicative of a stone or brick structure.

In defense of the architect of the bank branch, however, I might add that he did recognize the strength of reinforced concrete to a degree. As is

obvious

from the second-floor plan, the building's second floor is totally supported by the outer walls, while having no pillars at all in the inner space. The longest beams measure 16 meters long, a beam length unthinkable by stone and brick architecture. It is notable that the longest beams used in the wooden kabuki theater of the Edo period were no more than 11 meters.

Outwardly, there is no hint of its being a reinforced concrete building, so we must stick to the drawings. Let us check the wall thickness, for RC buildings are much more earthquake-resistant than stone or brick buildings. Thus, an RC building should have thinner walls. Using the scales provided in the drawings, we can measure the wall thickness to be 90 cm.

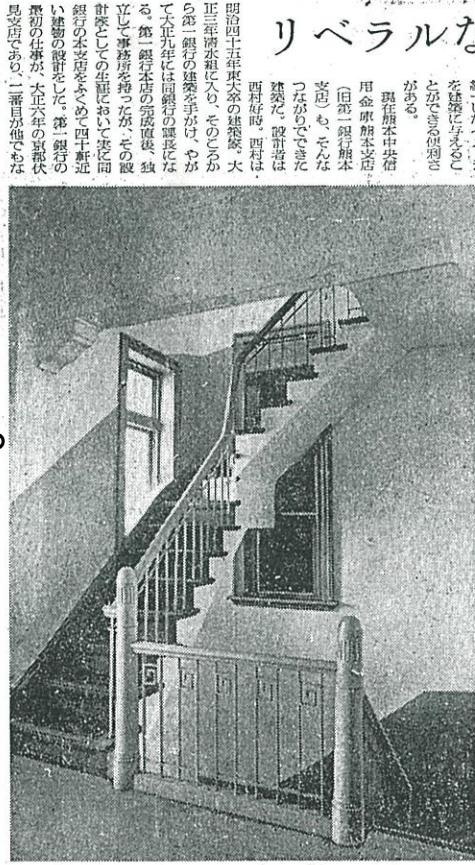
This is indeed a thick wall for an RC building. In spite of the external appearance and technical drawings, the architectural record of this building states that it was a reinforced concrete structure. Since the record is valid and indisputable, we should look for reasons why the walls were made so thick.

The Dai-ichi Bank's Kumamoto Branch was built in 1919, four years before the Great Kanto Earthquake that ravaged the Tokyo area in 1923. Before the RC buildings' strength was proven by the Great Kanto Earthquake, Japanese architects harbored second thoughts about reinforced concrete; in particular, they were apprehensive

## 旧第一銀行の建物について

## 資料

昭和49年に熊日新聞に掲載された「家は生きてきた」より



大正の時代的ふん団気を現した階段



明治四十五年東大の建築家、大正三年竣工に入り、そのじごから第一銀行の建築を手がけ、わが大正九年には同銀行頭長にて大正九年には同銀行頭長にて大正の頭長をして、第一銀行の建物の設計をした。大正六年の京都伏見店であり、「一番目が他でもな



明治5年完成の第一国立銀行



大正8年完成の第一銀行熊本支店

## 旧第一銀行 熊本支店社屋はこんな建物

旧第一銀行熊本支店の社屋は、唐人町筋や新町界隈など熊本の旧市街と呼ばれる地域が最も活気のあった時期に建てられ、そのモダンな雰囲気に一層の華を添えていました。

大正時代から現在まで熊本の町にぎわいを見つめつづけてきた建物です。

旧第一銀行熊本支店は、第一銀行が門司支店、福岡支店にさきがけて大正4年に九州で初めて開いた支店でした。

大正8年に完成した旧第一銀行熊本支店社屋は、熊本市で初めての本格的な鉄筋コンクリート造りの建物です。（日本建築総覧による）

日本におけるレンガ造りから鉄筋コンクリート造りへの過渡期の建物として、極めて貴重な文化遺産です。構造上の数々の特徴からも、当時の技術者が苦心したことが偲ばれます。

旧第一銀行熊本支店社屋は、施工した清水組（現在の清水建設）が、日本で初めて実費清算方式（現地の工事受注の方法と同じ）を取り入れて工事を行いました。

建築工法の変化とともに、近代的な建設会社誕生のきっかけともなる画期的な工事でした。

旧第一銀行熊本支店社屋は、設計者西村好時氏が設計した建物の中で、現存する最も古い建物です。

第一銀行は、日本で最初の銀行である第一國立銀行を前身とし、後に勵業銀行と合併して現在の第一勵業銀行に続いています。

## 設計者 西村好時氏はこんな人

### 略歴

明治19年1月22日	(1886) 横浜に生まれ、その後東京に移る
	東京高等師範学校付属小学校、同付属中学校を経て
	第四高等学校を卒業
明治45年7月	東京帝国大学工科大学建築科卒業
明治45年7月	眞水工務所技師となる
大正1年11月	日本建築株式会社技師となる
大正2年4月	同社設計部閉鎖により辞任
大正2年4月	曾根中条事務所嘱託となり 大正博覧会の設計に従事
大正3年4月	合資会社清水組設計部技師となる
大正9年1月	株式会社第一銀行技師建築課長
大正10年7月	銀行建築研究のためアメリカに出張
大正15年7月	欧米へ出張
昭和6年3月	事業の一応の完了により第一銀行退社
昭和6年5月	西村建築事務所開設
昭和24年8月	事務所を法人組織とする
昭和36年(1961)	没

大正2年には、開港記念横浜会館懸賞設計2等に入賞

大正6年には、建築学会会館懸賞設計2等入賞

という当時の経験をみてもわかるとおり新進気鋭の建築家でした。

東京大学の建築科ではレンガ造りを学んだであろう西村氏にとって、鉄筋コンクリート造りはアメリカからもたらされた最新のおそらくは未知の技術だったと思われます。第一銀行熊本支店の設計に際してその最新技術に果敢に挑戦しています。

第一銀行本店など、数多くの支店を設計し、銀行建築のオーソリティーともいえる建築家です。その一方で、池田侯爵邸、渋沢子爵邸など華族の邸宅や別邸も手掛け、高い評価を得ています。

戦前は台湾銀行本店（台北市）や満州中央銀行総行、三越大連支店（大連市）の設計を行いました。（中国本土にある建物は現存していると思われます）

昭和8年に建てられた柔道の殿堂「講道館」も西村氏の手になるものです。（現在は建替えられ現存していないのが残念です）

明治45年7月 東京帝國大學工科大學建築科卒業  
 " 水工務技術師  
 大正1年11月 日本建設株式會社技術師  
 " 2年4月 同社設計部附設設計課付  
 " 計師  
 " 同社設計部付  
 " 依リ大正博覽會設計  
 " 3年4月 合資會社清水組設計部技術師  
 " 9年1月 株式會社第一銀行技術課長  
 " 10年7月 銀行建築研究ノ目メ米国ニ出張  
 " 15年7月 歐米へ出張  
 昭和6年3月 奈良一應完了ニ就キ第一銀行退任  
 " 6年5月 西村座敷事務所開設  
 " 24年8月 事務所ヲ法人組織トス

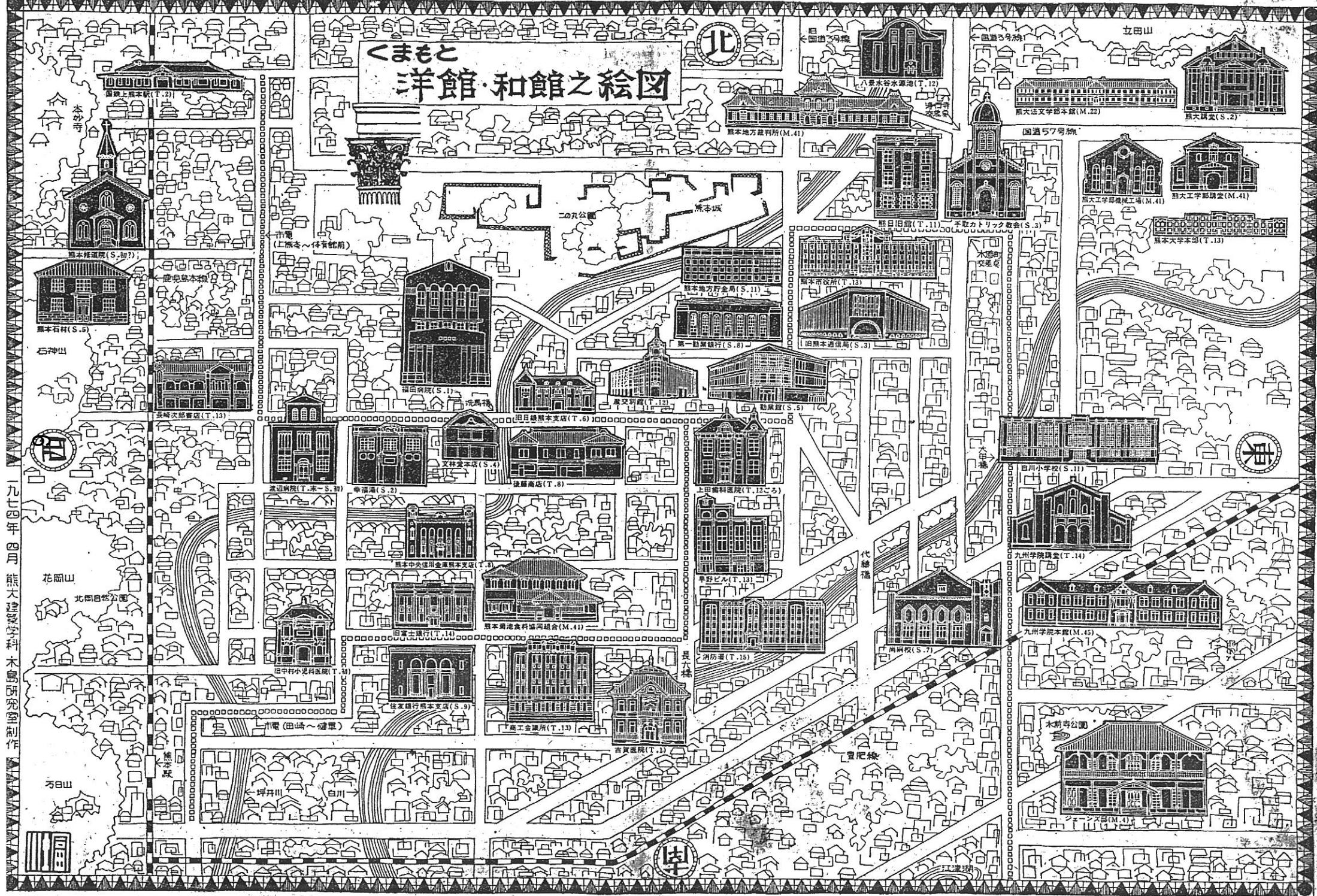


西村好時  
(1886-1961)

## 作品年譜

大正5年	富山県農工銀行	昭和7年	松下邸(本郷)	昭和13年	第一銀行池袋支店(東京)
大正6年	第一銀行伏見支店	昭和8年	第一銀行船橋支店(大坂)	"	堂島支店(大阪)
大正7年	池田侯爵邸(千駄谷)	"	同三田支店(東京)	"	大森支店(東京)
大正8年	第一銀行木文商店	"	同館林支店	"	京都支店 朱鶴手
"	同下関支店増築	"	同澁谷支店(東京)	"	神戸支店 朱鶴手
大正9年	同広島支店	"	下毛貯蓄銀行(宇都宮)	"	横浜正金銀行小樽支店
"	同西区支店(大阪)	"	勝利館(東京)	"	成瀬別邸(熱海)
大正10年	同門司支店	"	愛知縣立圖書館(若本設計)	"	石川島造船所深川工場
"	同福岡支店	"	川戸邸(伊勢原)	"	ディゼル自動車川崎工場
"	同函館支店	"	太田黒邸(洗足)	"	日本アルミ花蓮港工場
"	同室蘭支店	"	勝沢別邸(墨子)	"	石川島航空工業横浜工場
"	同広島支店長社宅	"	齊藤邸(住吉)	"	汽車製造会社砂町工場
"	同下関 "	"	昭和8年	"	ディゼル自動車日野工場
"	同門司 "	"	第一銀行宇都宮支店	"	同住宅其他施設
"	同玉川沿と横濱設計西	"	同大須支店(名古屋)	"	昭和14年 佐世保銀行本店
大正11年	同府支店	"	同赤坂支店(東京)	"	飯能銀行本店
"	同京都支店長社宅	"	合資銀行本店(台北)	"	高島屋百貨店(新宿)工事中止
"	同銀閣 "	"	尚洲中央銀行總行(新竹)	"	ディゼル自動車事務館其他
大正12年	同本店附屬新館	"	大東証券株式会社	"	同住宅地区計画
大正14年	同本町支店(大阪)	"	或源証券株式会社	"	日本アルミ高雄電鋸工場
大正15年	同久留米支店	"	田代写真館(四谷)	"	九富特殊鋼茅ヶ崎工場
"	同高麗橋支店(大阪)	"	勝沢邸(勝谷)	"	石川島造船所見舞物工場
昭和2年	同名古屋支店	"	昭和10年	"	昭和特殊鋼電鋸工場(生絆)
"	同丸太町支店(京都)	"	第一銀行兜町支店(東京)	"	日本貿易振興会社東京支店
昭和3年	同札幌支店	"	同西蔵支店(京都)	"	第一信託大阪支店
昭和4年	同横浜支店	"	片岡商店	"	日本飛行機会社風洞試験室
"	同銀座支店(東京)	"	十六銀行柳澤支店(阪神)	"	同、大飛行艇組立工場
昭和5年	同心斎橋支店(大阪)	"	阪神銀行本店	"	石川島造船青年学校宿舍
"	同五條支店(京都)	"	秋田邸(牛込砂土原町)	"	大日本機械工業青砥工場
"	同名古屋支店長社宅	"	王木邸(神田)	"	昭和15年
"	同札幌支店長社宅	"	河上邸(品川)	"	日本飛行機浜第二計画
"	同浅草支店(東京)	"	旭硝子放山工場審務所	"	日本飛行機浜第二計画
昭和8年	同三川清和園第二次開闢工場	"	日本飛行機浜第二計画	"	同住宅地計画(邊田)
"	同佐々木頭取記念館	"	ディゼル自動車琵琶工場	"	日本飛行機浜第二計画
"	同本郷支店(東京)	"	益田倉庫本社(日本橋)	"	同、大飛行艇組立工場
"	同本郷支店(東京)	"	佐原信用組合(鶴見)	"	石川島造船深川第二計画
"	同守谷駅(三田)	"	堺王学生勝扶会寄宿舍	"	主機工場羽根工場其他
"	同滋賀氏邸(練馬)	"	三越大通支店	"	三泰石棉工業與哥工場
"	同滋家納骨塔(谷中)	"	守谷邸(芝谷)	"	浦賀船塗工場
昭和7年	第一銀行銀川支店(東京)	"	浅川邸(小石川)	"	横須賀海軍施設部工場其他
"	同足利支店	"	昭和12年	"	昭和18年
"	同豊橋支店	"	第一銀行京橋支店(東京)	"	同、学政宿舍等五十軒
"	同横生支店長社宅	"	守谷商会増築(日本橋)	"	住宅営團東京支所
"	同藤井邸(代々木)	"	秋田別邸(羽形)	"	大日本機械第二次計画
"	同見医院(洗足)	"	石川島造船所佃島工場	"	浦賀船塗工場其他
"		"	蒲田信用組合(蒲田)	"	昭和18年
"		"	第一銀行川崎支店	"	同須賀草施設部三郎

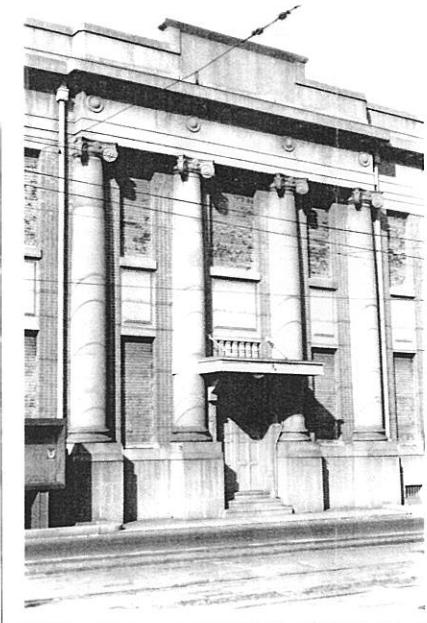
くまもと  
洋館・和館之絵図



## 時代精神を現し都市空間を彩る銀行建築群



旧安田銀行熊本支店（1908/M41→解体）



旧富士銀行熊本支店（1925/T 14→解体）



旧日本銀行熊本支店（1917/T 6→解体）



旧第一銀行熊本支店（1919/T 8→現存）



住友銀行熊本支店（1934/S 9→現存）



第一勵業銀行熊本支店（1933/S 8→現存）

## ●(株)ジャックス旧本社社屋の保存例



現在は函館市文学館として活用されている

## 建物の由来

(株式会社 ジャックス旧本社社屋)

この建物は、大正二十年に第一銀行函館支店として建てられたもので、煉瓦及び鉄筋コンクリート造の二階建て建築であります。

昭和四十年に株式会社ジャックスが買取って、社屋として使用してきましたが、同社が移転することになり、平成元年十一月、代表取締役社長であった山根要氏（函館出身）のご配慮により、「ジャックス発祥の地ある函館の又は振興に役立つことが出来れば」ということで、函館市に土地、建物が寄贈されたものであります。

建物の延床面積は、約千百五十坪（約五百六十坪）で、一階、二階が展示室となつてあります。また建物は、当市の「歴史形成指定建築物」のひとつであることが、外観をそのままにとどめ補強し、内部改善を行って、函館市文学館として蘇らせたものであります。

歴史的な街並みにつなぐと調和した建物から文学というジャンルを通して、函館の歴史の一ページを知ることが出来る感じであります。

## ●横浜銀行旧本店別館保存の事例



横浜市中心街を十七日、昭和初期に建てられた横浜銀行旧本店別館の正面部分が、そろそろと移動した。写真的建造物として保存され、同市区の再開発に伴う進むとジャッキの支索が、百七十枚動かし、歴史が、毎秒二メートルの速度で約三十枚だけだった。三階建て、約千三百の鉄筋コンクリートが四台の油圧ジャッキに押され、三十列のレールの上に並んだ古代エジプトのピラミッド建築現場を見るようだ。

移動の費用は約四億円。



## ●(株)黒壁／滋賀県長浜市の事例

## ・歴史的建築物を保全しながら進む、まちの活性化

「黒壁銀行」と呼ばれ、長浜市民に親しまれていた明治33年建造の歴史的建造物が売りにだされていたところを、青年会議OB企業経営者達が株式会社を設立し、ガラス工芸館として再利用を図ったものです。

その後、北国街道沿いの伝統的な建物を次々に買い取り、ガラス工芸品の販売、製造や美術館、レストランとして再生しています。

平成6年までの5年間で16号館までに拡大しています。

1年目12万人の集客が5年目(平成6年)は100万人、平成5年の売上は4億円。資本金は当初1億3000万円でスタート、現在、4億3000万円。

ガラス工芸を介した国際交流や地元アーティストの育成など、人的ネットワークが飛躍的に拡大してきました。



# 2

旧第一銀行熊本支店

社屋保存に関する経緯



- |              |   |
|--------------|---|
| 1919（大正8）    | 第一銀行熊本支店建物完成                                |
| 1971（昭和46）   | 日本勧業銀行と第一銀行の合併にともない、第一銀行熊本支店は閉鎖             |
| 1972（昭和47）   | 熊本中央信用金庫が第一銀行熊本支店旧社屋にて熊本支店を開設               |
| 1980（昭和55）   | 中央信用金庫本店の熊本市内開設にともない、唐人町支店と改称               |
| 1996（平成8.10） | 本店統合にともない、中央信用金庫唐人町支店廃止                     |
| 1997（平成9.2）  | 熊本中央信用金庫唐人町支店社屋及び用地を北九州の企業へ<br>マンション用地として売却 |
| 1997.3.7（金）  | 古町研究会で同建物の保存に関する検討開始                        |
| 1997.3.11（火） | 取り組みの枠組みの検討                                 |
| 1997.3.15（土） | 日本ナショナルトラストの研究と<br>熊本まちなみトラストのしくみの検討        |
| 1997.3.21（金） | 設立趣意書とアクションプランの検討                           |
| 1997.3.27（金） | 設立趣意書とアクションプランの検討                           |
| 1997.4.1（火）  | 趣意書・会則・事業計画・アクションプランの設定                     |
| 1997.4.3（木）  | 呼びかけ人への依頼開始と呼びかけ人会の開催検討                     |
| 1997.4.10（木） | 文化庁建造物課への説明状況報告、同建物の歴史の掘り起こし                |
| 1997.4.12（土） | （財）日本ナショナルトラスト・米山事業課長を囲んで昼食会                |
| 1997.4.16（水） | 建物所有者へのアプローチの方法検討、呼びかけ人会の準備                 |
| 1997.4.22（火） | 建物所有者の意向確認、呼びかけ人会の準備                        |

第一交通産業(株) 社長 黒土 始様

旧第一銀行熊本支店社屋についてのお願い

1997（平成9）年4月22日

熊本まちなみトラスト呼びかけ人一同

陽春の候、貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年2月熊本中央信用金庫から御社が購入されました、熊本市唐人町通りの地所に建つ旧第一銀行社屋についての私どもの思いにまず、耳を傾けていただきたく存じます。

第一銀行は、渋沢栄一の手によって我が国で最初に設立された銀行であり、大正6年における支店数28は、住友26、安田13を凌いで全国一を誇っていました。その第一銀行が九州で最初に開設した支店が熊本支店であり、大正8年に建造され、現在も唐人町に建ち続ける社屋は往時の日本の近代化と町の繁栄を今に伝える生き証人となっています。

また、多くの建築学者が指摘していますように、関東大震災以前の建物の構造としてはきわめて先駆的な鉄筋コンクリート構造であり、意匠的にも軽快なアーチや都会的な茶褐色のタイルの外観は大正時代らしい自由な雰囲気が漂うすぐれた建築物であります。文化財としての建物の価値は、文化庁の調査官に私どもがうかがっていますところでは、「所有者の了解が得られれば『登録文化財』にはすぐにでも指定できる価値を持つ」ということです（文化財登録制度とは、文化財としての価値は認めながら町なかにある普通の建物同様に使い続ける、という趣旨で昨年できたもので、固定資産税の減免など若干の公的支援が用意されています）。

そのような、歴史を物語る文化財としての価値に加えて、私ども地域住民にとりましては、この建物は坪井川にかかる明十橋とともに唐人町界隈のふるさとの風景として強く心に残るもののです。

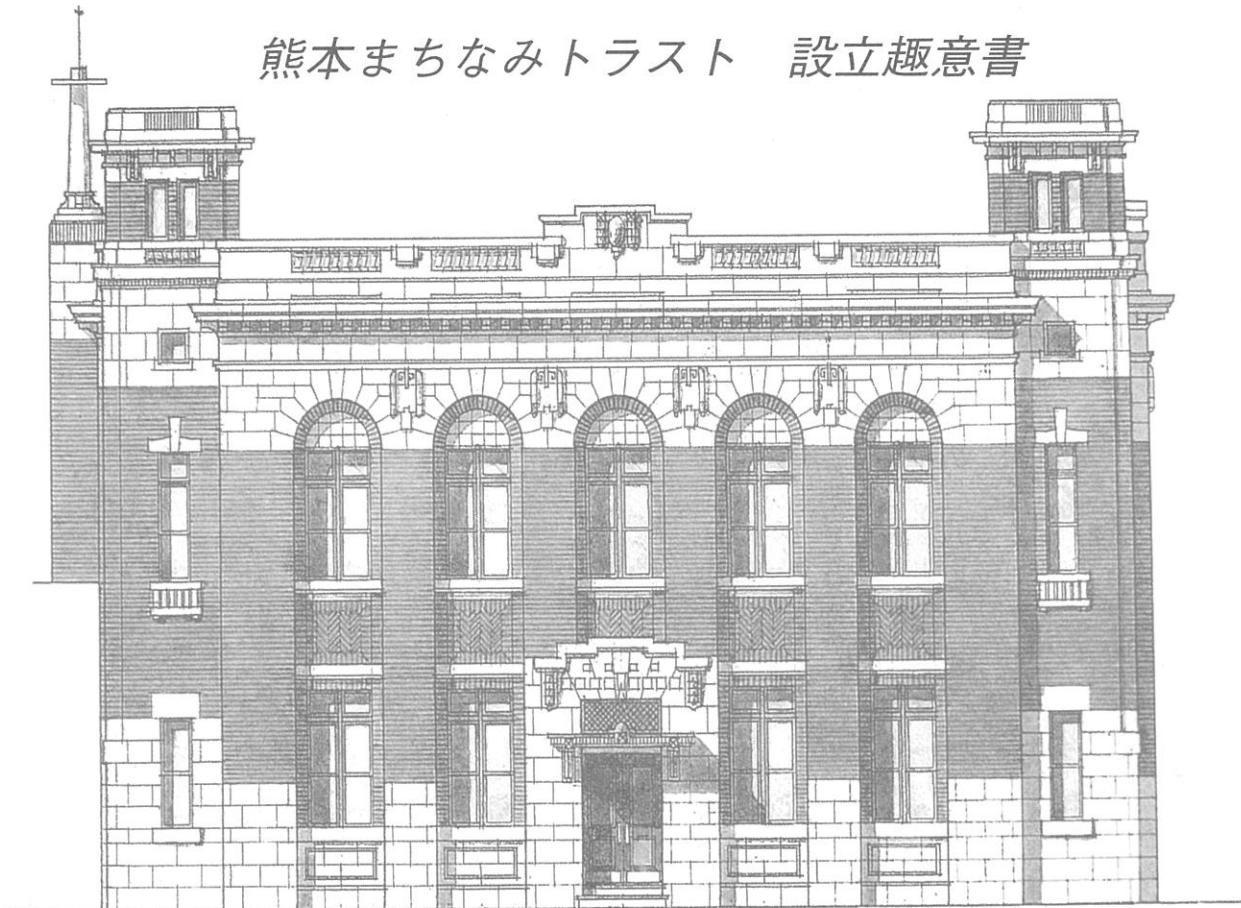
この建物についての私どものこのような思いを前提に、次のようなお願いをさせていただきます。

- ①この建物を取り壊さずに貴社の事業用資産として運用していただきたい。たとえば、ギャラリー等の用途として。
- ②御社自身の営業が難しい場合、適当な営業者へ賃貸していただきたい。営業者を私どもも探します。
- ③上記いずれも叶わない場合、建物を取り壊さずに使い続ける方に売却していただきたい。買いたい手を私どもも探します。民間企業、行政機関、日本ナショナルトラスト等の公的機関など多方面にはたらき掛けます。

この地所は、御社がマンション建設の事業用資産として買い求められたことはうかがっており、御社の事業活動にご迷惑をおかけすることは承知の上で、あえてこのようなお願いをするに至りましたのも、ひとえにこの建物に寄せる私ども地域住民の思いからにはかなりません。どうかその意のあるところをおく取りいただき、よろしくご検討のほどお願い申し上げます。

敬具

# 熊本まちなみトラスト 設立趣意書



昨年10月まで、熊本中央信用金庫唐人町支店として使われていた建物がマンションの建設を目的とした土地の売り払いにともない姿を消そうとしています。

大正8年に第一銀行熊本支店として建造され、現在も唐人町に建ち続けるこの建物は、

- ①日本で最初に設立された銀行が九州で最初に出した支店であり、当時の銀行建築の様式を今もとどめている
- ②鉄筋コンクリート構造では日本における極めて初期のものである
- ③建設会社が近代的な請負方式を適用したおそらく日本では最初の例である

ということから、日本の近代建築史の1ページを飾るにふさわしい文化遺産です。加えて、加藤清正による城下町創建時の街割りを今にとどめる新町と古町の間を流れる坪井川に明治10年に架けられた橋の際に悠然と建つこの建物は、熊本の街の原風景の一つとなっています。

熊本まちなみトラストは、この建物の保存に力を尽すとともに、これを契機として、熊本に点在する貴重な建造物を保存・活用する運動の輪を広げていくことを目的としています。

熊本に点在する後世に継承すべき文化遺産を顕彰するとともに、それらのネットワークを強め、熊本の明日を描くことに役立てようというこの団体の意志を「まちなみトラスト」という言葉に託しています。

どうぞあなたの夢と熱意を私どもの運動に加えてください。

お待ちしております。

1997（平成9）年4月

「**12**熊本まちなみトラスト」呼びかけ人一同

# 熊本

## まちなみ トラスト

FILE001



石原靖也氏プロフィール

東光石油(株)  
代表取締役副社長

経歴

1954年 熊本生まれ  
県立熊本高校から  
青山学院大学卒業  
産業能率短大卒業

1978年 研修のため渡米  
1980年 帰国、現在に至る  
活動

- ・子供達の自然人学校  
「モンタナ・ワイオミング」  
「フリースクール」  
(プランナー浜野安宏氏との  
共同作業)
- ・インターデザイン熊本会議
- ・ファームフェスタ90
- ・新熊本産品プロデュース  
無添加海苔  
河内町ミカンプランナー  
「アランシア」
- 日本一の極細面「ゆきやぎ」  
等

### 初代会長に石原靖也氏

会長の人選は事務局とコアスタッフで行いました。①最初の呼びかけ人会に参加された方の中から②若くて③意欲とボランティア精神に富む方、という選考基準で候補者を絞り込み、石原氏にお願いすることになりました。氏は、東光石油の副社長という企業人であるとともに、自らの夢を託した商品企画会社の代表として活動する人でもあります。最初の2年間の会長職をお引き受けいただきありがとうございます。

### CONTENTS

- 熊本まちなみトラスト呼びかけ人会を開催●●1
- 初代会長に石原靖也氏●●1
- 熊本まちなみトラスト会則●●2
- 入会のご案内●●3
- 今後の活動予定●●3
- 会員名簿●●4
- 事務局だより●●4

### 熊本まちなみトラスト呼びかけ人会を開催

四月二十五日

#### 団体設立を承認

熊本商工会議所大会議室において「熊本まちなみト

ラスト呼びかけ人会が開催されました。

当日の熊日朝刊を読んで駆けつけた方をはじめ、準備期間が短かつたにもかかわらず、二十七名の参加者を数えました。石井清喜氏の挨拶の後、富士川一裕より、トラスト設立のきっかけとなつた旧第一銀行熊本支店社屋の保存交渉の現状やトラストの主旨、会則案などの説明が行われました。参加者からの質問を受けるコーナーでは、運営方針や活動内容、会の名称についての質問が出されました。また、参加者から一言ずつコメントをいたしましたが、旧第一銀行社屋にまつわる思い出やエピソードをはじめ、歴史的な建物の保存に寄せる思いや景観行政への意見など多岐にわたり、参加者の幅の広さを感じさせました。最後に参加者全員の拍手により、「熊本まちなみトラスト」の設立が承認されました。会終了後の旧第一銀行社屋見学会では、現所有者のご好意によつて建物内部の見学も実現し、参加者は改めてこの建物の素晴らしさを確認しました。

#### 呼びかけ人会出席者

高浜幸敏、岡裕二、嶋田京子、  
中村勝、磯田節子、富士川一裕、  
森本高志、岡英生、亀井創太郎、  
石原靖也、大石桂一、石井有子、  
泉啓一郎、吉本栄一、藤好健史、  
西嶋公一、丹伊田穰、酒井健一、  
大石康夫、轟多朗、大槻富士彦、  
副島梅太郎、石井清喜、藤本秀子  
(芳名録記載順)  
ほか5名



# 熊本まちなみトラスト会則

## 1. 名 称

本会は、熊本まちなみトラストと称する。  
(Kumamoto National Trust for Historic Landscape Conservation)

## 2. 事務所

本会は、主たる事務所を熊本市に置く。

## 3. 目 的

本会は、熊本の財産として後世に継承するにたる街なみ資源を保存し、かつ、その活用を図ることにより、熊本の地域文化の向上に寄与することを目的とする。

## 4. 事 業

本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- ①本会の目的に沿う後世に継承するに足る資源の発掘。
- ②前号により発掘された資源の所有者、管理者等に対する情報の提供と支援。
- ③同上発掘された資源の保存、修復、運営。
- ④本会の目的を市民に理解を求めるための調査、啓発、出版活動。
- ⑤その他、本会の目的を達成するために必要な事業。

## 5. 会 員

会員は、本会の目的に賛同し、年会費を納入した者とする。

## 6. 年会費および特別会費

年会費は、

一般会員	5,000円
呼びかけ人会員	10,000円
学生会員	2,000円
永久会員	100,000円
法人会員	1 口 20,000円 (但し、何口でも可)

特別に支出を要する事業を行う場合には特別会費を募ることができる。

呼びかけ人会員は、  
自らが会員になるととも  
に、本会への賛同者に入  
会の勧誘を行う。

## 7. 会 計

本会の運営は年会費、特別会費および寄付で行う。

会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

## 8. 資産の管理とその報告

会費の預金等本会の資産は、会長が管理し、その管理方法は役員会の議決を得て執行する。管理状況はすべて、会員に公開し報告する。

## 9. 意思決定の方法

本会の意思決定は役員会が行い、意思決定の過程及び結果は会員に公開し、報告する。

## 10. 役員および会長

本会に役員と監事を置く。

役員の互選により会長を選出する。会長は任期を2年とし、再選は認めない。(ただし、その任期が連続していない場合はこの限りではない。)

設立当初の役員は呼びかけ人があたり、以後2年の任期ごとに改選する。改選の方法は役員会で決める。

## 11. 会員総会

会員総会は、会員によって構成し、必要に応じて会長が招集し、業務の報告を行う。

## 12. 事務局

- 1 本会の事務を処理するため事務局を置く。
- 2 事務局には事務局長及び事務局員を置くことができる。
- 3 事務局長及び事務局員は、会長が委嘱する。

### (附則)

本会は、「参加と公開性」の原則と市民的良識を重んじ、簡素な運営に努める。  
本会則は1997(平成9)年4月25日から適用する。

## 熊本まちなみトラスト会員名簿

麻生田 栄壽  
安部 直幸  
□ 荒木 幸介  
粟津 安和  
石井 清喜  
◎ 石原 靖也  
泉 啓一郎  
磯田 節子  
出田 秀尚  
伊藤 健一  
伊藤 重剛  
稻葉 伸一郎  
大石 桂二  
大石 康夫  
大川 陸  
岡 裕二  
小川 泰平  
賀古 唯義  
亀井 創太郎  
川口 滋  
河島 一夫  
河津 龍介  
北川 和喜  
久保田 哲郎  
神田 晴生  
小林 一郎  
小堀 富夫  
□ 斎藤 修  
酒井 健二  
酒井 真理子  
清水 照親  
下川 尚  
末吉 駿一  
鈴木 健二  
副島 梅太郎

熊本地所鑑定(株)  
(株)熊本岩田屋  
公認会計士  
王栄幼稚園  
歴史家  
東光(株)  
泉建築研究所  
主婦・一級建築士  
出田眼科病院  
伊藤会計事務所  
熊本大学工学部  
(株)熊本構内タクシー  
大石そば  
NTTファシリティーズ  
(財)住宅生産振興財團  
筋ワーカス(有)  
泰泰主人  
(財)文化財建造物保存技術協  
亀井通産(株)  
有限会社 ダーク  
舒文堂 河島書店  
(株)テレビ熊本  
菓舗 天明堂  
久保田洋品店  
(有)東雲薬局  
熊本大学工学部  
(株)熊本放送  
弁護士  
合名会社豊住葬祭  
インテリアプランナー  
熊本県都市計画課  
下川薬局  
(株)マインド  
熊本県立劇場  
(株)香梅

1997(平成9)年6月9日現在

園田 耕一  
高浜 幸敏  
旅井 信行  
月田 哲雄  
轟 多朗  
富重 清治  
友住 容子  
中島 熙八郎  
丹伊田 穩  
西島 衛治  
西嶋 公一  
西島 真理子  
丹邊 恭平  
東大森 裕子  
○ 富士川 一裕  
藤谷 成企  
藤本 秀子  
藤好 建史  
堀内 清治  
本多 孝  
三浦 洋一  
道脇 昭廣  
光永 元昭  
宮嶋 昭二  
宮田 房之  
村上 貞昭  
森尾 秀之  
矢野 和之  
山田 穩  
吉住 せい子  
吉田 紀生  
吉本 栄一  
與繩 葦

園田屋  
熊本地名研究会  
桂花  
熊本商工会議所  
デザインドロキ  
富重写真所  
報徳保育園  
熊本県立大学  
(有)ロゴス設計同人  
熊本集合住宅研究所  
西嶋コーポレーション(株)  
一級建築士  
文林堂本店(有)  
東大森裕子建築設計事務所  
(株)人間都市研究所  
熊本マンション管理組合連絡協議会  
古町研究会事務局  
藤好クリニック  
熊本工業大学工学部  
熊本日々新聞社荒尾支局  
熊本文化懇話会  
マルエ(株)  
光永(株)  
(株)鶴屋百貨店  
弁護士  
熊本博物館  
(株)森尾絲店  
(株)文化財保存計画協会  
九州東海大学工学部  
喫茶 ゴータマ  
シティFM  
熊本ヤナセ(株)  
熊本トヨタ自動車(株)

名簿は五十音順

◎会長 □監事 ○事務局長 アンダーラインはコアスタッフ  
この名簿は初年度年会費徴収前の暫定的なものとお考えください。  
現段階では、この名簿にある方全員を呼びかけ人会員=役員と考えています(事務局)。

最大懸案の旧第一銀行熊本支店社屋保存の問題提起  
起から三ヶ月、呼びかけ人会の開催から  
一ヶ月が過ぎ、熊本まちなみトラストのかたちがやっと少し見えてきたようです。

この問題は、建物の活用を検討しようと  
いう方から建物所有者へ詳細な調査の申  
し入れを行う、というかたちで推移して  
います。建物の再活性化のシナリオが明  
確になった時点では会員の方にはお知らせ  
いたします。

コアスタッフ会では、七月の交流イベ  
ントの準備に余念がありません。コアス  
タッフ会へ参加しようという方はお知らせ  
ください。歓迎します。

事務局  
だより

熊本まちなみトラスト事務局  
熊本市古川町二五一一〒860  
古川町シティハウス  
電話番号 0963-226611  
fax 0963-226611  
（株）人間都市研究所内

## 入会のご案内

熊本まちなみトラストでは会員を募集しています。  
詳しくは、熊本まちなみトラスト事務局までお問い合わせください。

### 会員資格

熊本に点在する後世に継承すべき文化遺産の保存活用という目的にご賛同、ご協力いただける方であればどなたでもご入会いただけます。

### 会員特典

ご入会いただいた方は、  
①会報「熊本まちなみトラストFILE」をお送りします（当面は随時発行、将来は毎月発行の予定です。）  
②勉強会、見学会に参加できます。

### 年会費

一般会員：五、○○○円  
呼びかけ人会員：一〇、〇〇〇円

学生会員：二、〇〇〇円

永久会員：一〇〇、〇〇〇円（年会費ではありません。）

法人会員：一〇、二〇、〇〇〇円（但し何口でも可）

### 会費納入方法

郵便振替

郵便振替でお願いします。（振替料金はご負担ください。）  
□座番号 0173-0-60360  
□座名称 熊本まちなみトラスト

## 今後の活動予定・スケジュール

6月2日（月）19:00～21:00  
熊本まちなみトラスト地元会  
於：YES YOUR ROOM 泰tai -  
tai泰 古川町シティハウス  
2F

旧第一銀行熊本支店社屋の保存運動と熊本まちなみトラストの活動を旧第一銀行熊本支店社屋のある唐人町界隈の皆さんにご理解頂き、多くの皆さんに参加していただくためにトラストのコアスタッフと地元の皆さんとの交流会を開きます。

7月12日（土）14:00～16:00  
熊本まちなみトラスト設立記念講演会＆交流会

於：同仁堂スタジオライフ  
熊本市上通

トラスト設立のきっかけとなった旧第一銀行熊本支店社屋の建築学的な価値や歴史的な価値についての講演会と

熊本の人々の心に残る建物の思い出の発掘のために心ゆくまで語り合える交流会を開催します。

7月12日（土）～（期間未定）  
失われた建物写真展

於：（場所未定）

これまでに失われてしまつた熊本の文化遺産を写真によって振り返ります。

## 会員証カード デザイン製作中

デザインは  
熊本まちなみトラストの呼びかけ人でもある  
デザイナーの轟多朗氏です。

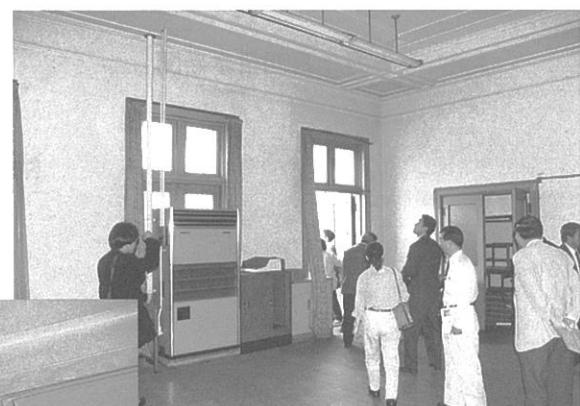


## 旧第一銀行熊本支店社屋見学会点描

4月25日の「呼びかけ人会」の会場となった商工会議所から歩いて現地へ到着。所有者の好意で鍵を開けていただき、内部も見学することができました。



↑道路の向かい側からも  
唐人町通りに面した正面玄関を見上げる→



毎日

21

1997年(平成9年)6月1日(日曜日)

熊本くまもと

# 貴重な近代建築を発掘、活用

商店主や建築士ら60人が参加

熊本市内の貴重な近代建築をみんなの手で守ってい  
こく、と市民有志がこのほど「熊本まちなみトラスト」  
を発足させた。最初の取り組みとして、マンション業者に転売された大正時代の建物、旧第一銀行熊本支店社屋(唐人町)の保存運動を進めていく。

市内の街づくりグループ「古町研究会」の呼びかけで、商店主や建築士、学者ら約60人が参加。市内には明治・大正・昭和初期の由緒ある建物が多数あったが、ビルやマンションに建て替わったり解体されて現存する建物は数少ない。このため、同トラストは「後世に残すべき街並み資源を発掘し、活用を図る」としている。

旧第一銀行社屋は、1919(大正8)年に完成。日本でもじく初期の鉄筋コンクリート造り2階建てで、太正ロマンの自由な雰

囲気を漂わせ、文化庁の登

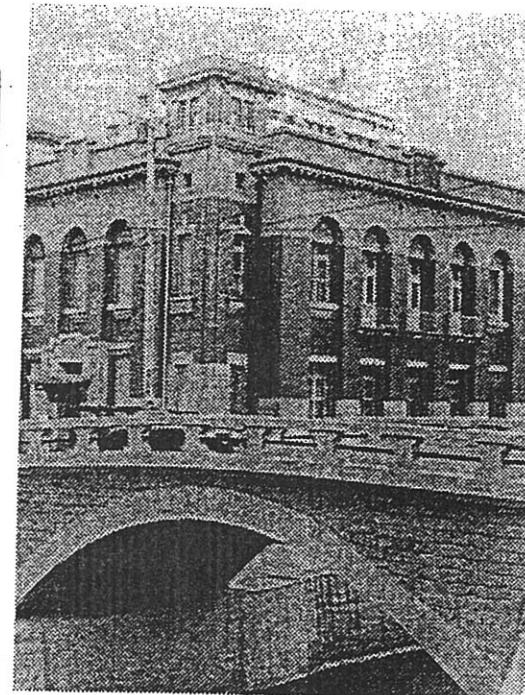
【手島 博】

## 「熊本まちなみトラスト」発足

熊本市内の貴重な近代建築をみんなの手で守ってい  
こく、と市民有志がこのほど「熊本まちなみトラスト」  
を発足させた。最初の取り組みとして、マンション業者に転売された大正時代の建物、旧第一銀行熊本支店社屋(唐人町)の保存運動を進めていく。

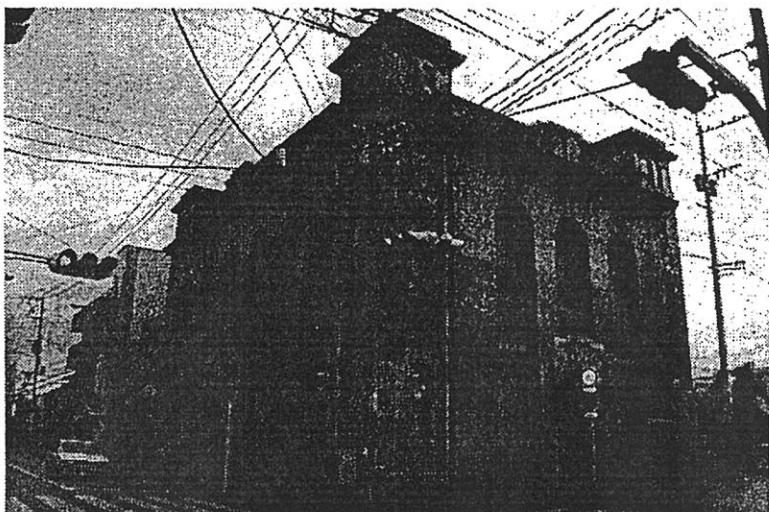
市内の街づくりグループ「古町研究会」の呼びかけで、商店主や建築士、学者ら約60人が参加。市内には明治・大正・昭和初期の由緒ある建物が多数あったが、ビルやマンションに建て替わったり解体されて現存する建物は数少ない。このため、同トラストは「後

生を呼びかける。  
同トラスト事務局の建築士、富士川一祐さん(46)は「熊本市内の近代建築はこの20年で約3分の2が失われた。関心のある人たちのネットワークを広げ、地域の原風景を守っていきたい」と話している。



レンガの外壁でしゃれた雰囲気の  
旧第一銀行社屋。手前の橋は明治  
時代に造られた石造りの眼鏡橋

# 残そう 旧第一銀行熊本支店



大正期の銀行建築の様式を今に伝える、  
旧第一銀行熊本支店＝熊本市中唐人町で

ボジウム「よみがえれ！  
熊本まち」を開いた。同会はまず、大正時代の建築意匠の面影を今に残す旧第一銀行熊本支店（熊本市中唐人町）の保存活動に乗り出す。

「まちなみトラスト」は、資金を出し合って土地などを買い取ることで貴重な自然環境を残す「ナショナルトラスト運動」にならつて、自分たちの手で町並みを保存しようと始めた。現在の会員は約七十人。

旧第一銀行熊本支店は、一九一九年（大正八）年に九州で最初の支店として建設された。熊本中央信用金庫

## 地元経済人ら「まちなみトラスト」結成

### 広く保存運動呼び掛け

県内に点在する歴史的に貴重な建造物を保存、活用しようと、地元経済人らが「熊本まちなみトラスト」を結成し、このほど記念シ

ンボジウム「よみがえれ！  
熊本まち」を開いた。同会はまず、大正時代の建築意匠の面影を今に残す旧第一銀行熊本支店（熊本市中唐人町）の保存活動に乗り出す。

「まちなみトラスト」は、資金を出し合って土地などを買い取ることで貴重な自然環境を残す「ナショナルトラスト運動」にならつて、自分たちの手で町並みを保存しようと始めた。現在の会員は約七十人。

が支店として使っていたが、統廃合で閉鎖。県外業者がマンション用地として購入したため、「このままでは由緒ある建物が消えてしまう」と、保存運動が始まった。同会が資金を集め一方で、買い取り手を探している。

シンボジウムには、文化庁文化財保護部建造物課の後藤治さんと建築評論家の長谷川堯さんが参加。後藤さんは、昨年の法改正でできた文化財登録制度を紹介して「従来は『文化財に指定されると釘（くぎ）の一本も打てなくなる』といつて、広く登録することで、広くみんなに価値がわかつても見える」と話した。

また、旧第一銀行熊本支

店の中に実際に入った長谷

川さんは、「七十数年生き延びてきた建物の生命力を感じさせられた。設計者の氣力が伝わってくる」と評価。「年月を重ねて建っている建物は、そこで仕事をした人の記憶の一部になっている。建物がなくなることは、その記憶を抹殺することになる」と保存の必要性を訴えた。

「まちなみトラスト」会長の石原靖也さん（東光石油副社長）は「専門家でなくとも、いじと感じるものが残される幸せは感じられる」と話している。

川さんは、「七十数年生き延びてきた建物の生命力を感じさせられた。設計者の氣力が伝わってくる」と評価。「年月を重ねて建っている建物は、そこで仕事をした人の記憶の一部になっている。建物がなくなることは、その記憶を抹殺することになる」と保存の必要性を訴えた。

「まちなみトラスト」会

長の石原靖也さん（東光石油副社長）は「専門家でなくとも、いじと感じるものが残される幸せは感じられる」と話している。

川さんは、「七十数年生き延びてきた建物の生命力を感じさせられた。設計者の氣力が伝わってくる」と評価。「年月を重ねて建っている建物は、そこで仕事をした人の記憶の一部になっている。建物がなくなることは、その記憶を抹殺することになる」と保存の必要性を訴えた。

「まちなみトラスト」会

長の石原靖也さん（東光石

油副社長）は「専門家でな

くとも、いじと感じるもの

が残される幸せは感じられ

る。熊本に点在するすばり

しい建物を市民の財産にし

ていくため、一人でも多く

の市民を運動に巻き込んで

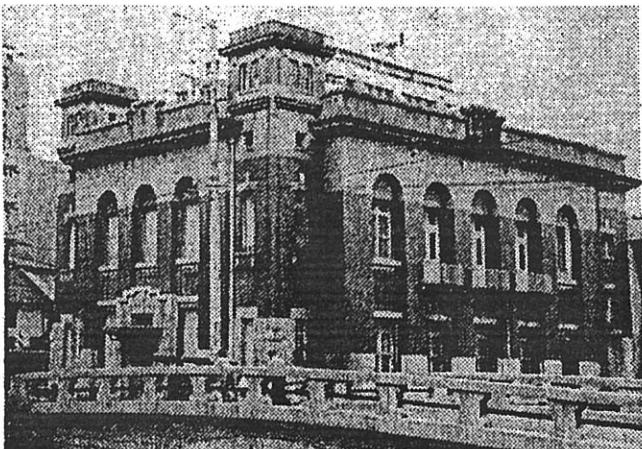
いきたい」と話している。

## 第一銀行熊本支店社屋

「保存」条件に借りてください

建物保存を条件にどなつか  
か、借りてくれませんか。  
買ってくれば、なに幸い  
ですが……。熊本市内の重  
い近代建築保存に取り組  
んでいた「熊本まちなみ  
ラスト」（石原靖也会長）  
がこんな緊急の呼び掛けを  
している。近くシンボシリ  
ュムを開き広く市民に訴え

問題の建物は、同市唐人町通りにある旧第一銀行熊本支店社屋。大正初期に完成した日本でもごく初期の鉄筋コンクリート造りで、文化庁の登録文化財候補にもリストアップされた。



取り壊しの危機に直面している旧第一銀行熊本支店社屋

トをあわてさせた。  
現在、いづかの引き合  
いもあるが時間との競争と  
いう側面もあり、先行きは  
不透明。こうした窮状を訴  
えるため、同リストは12  
日午後2時から、同市上通  
りの同じ草堂スタジオライフ  
で「シンボジウム」のみが  
えれ!熊本んまち 旧第一  
銀行熊本支店の保存・活用  
を考える」を開く。

文化庁建造物課の後藤治一  
調査官と「都市回廊」として  
う著作で毎日出版文化賞を  
受賞した長谷川堯・武藏野  
美術大教授を招き、市民も  
参加してのシンポに、かつて  
熊本市内に点在し今は失

者がマンション用地として活用するなどの保存方法を採ったこと、買収したこと、有志が同トラストを結成して、地域の街づくりの拠点としたことなどを紹介。業者側も「代替地がある」と理解を示していくが、これまでに開催された真面目な近代建築の写真約20点を紹介するパネル展も同時に開催。入場無料。

12日、活用考えるシンポ

「まちなみトライスター」が緊急呼び掛け



## 旧第一銀行社屋残そう

熊本まちなみ  
トラスト "借り主"募集中

県内の歴史的な建築物を後世に残すと建築士や学者などが設立した市民グループ「熊本まちなみトラスト」(石原靖也会長)は、熊本市唐人町の旧第一銀行社屋の"借り主"を探して同社屋はマンション開発などを手がける第一交通産業(本社・北九州市)が熊本中央信用金庫から購入している。

申しことく、同社屋はマネジメントを手がける第一交通産業(本社・北九州市)が熊本中央信用金庫から購入している。同社屋はマンション開発などを手がける第一交通産業(本社・北九州市)が熊本中央信用金庫から購入している。

た。同会は、これをきっかけに後世に残すべき資源(建築)の発掘・調査、保存などに取り組もうと設立された。同社屋については、存などに取り組もうと設立された。同社屋について、第一交通産業は「内容に取り壊さずに利用するよう要望したが、同産業にその要望したが、同産業にそのまま使う考えがないことから、「早急に今の建物を活用する使い手か、買ひ手を探すので待つてほしい」と申し入れている。

同社屋は大正八年に完成。地上二階、地下一階で、当時としては全国でも珍しい本格的な鉄筋コンクリート建築。同会の富士川一裕事務局長は「大正ロマンを感じさせる貴重な建築」と言う。

市内の熊本中央信用金庫唐人町支店が建っている土地が、マンション用地として県外業者に売却されたのが設立のきっかけだった。同支店は統廃合のため、すでに閉鎖されているが、建物は1919年に旧第一銀行熊本支店として建てられた歴史的建築物。地上2階、地下1階建て、外壁は茶褐色のタイルで覆われており、国内初期のRC造だという。

同グループでは、当面この建物の保存運動を展開していく予定で、用地を取得した業者に建物の保存を求める文書を送っている。

### 建築物保存へ市民グループが発足 「熊本まちなみトラスト」設立

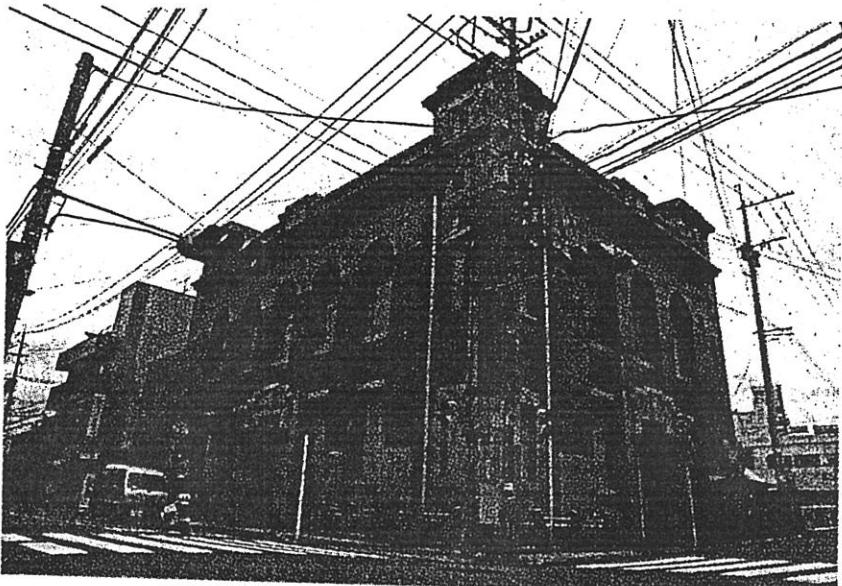
熊本市で、建築物の保存を促進する市民グループ「熊本まちなみトラスト」が発足した。後世に残す建築物の発掘や、所有者への支援、建築物の取得などを目的とする。

NIKKEI ARCHITECTURE 1997年6月16日号

1 富士川さんまで。  
☎ 096(326) 661

# よみがえれ 熊本んまち

「まちなみトラスト」あすシンポ  
旧第一銀行支店の保存・活用訴え



市民グループが保存を訴える旧第一銀行熊本支店

経済人、文化人ら市民で「まちなみトラスト」(石原靖也会長、約70人)は11日、大正初第一銀行熊本支店(熊本市)自然環境を守るために存して行こうと発足した。

約五百八十平方㍍に、鉄筋

後藤治調査官、建築評論家

熊本大建築学科が二十三年前、調査した際は約四十年。軒あつた近代建築物も次々に姿を消し、今や三分の一に。このままでは、建築遺産とともに古きよき町並みを研究している「古町研究会」を中心としているが、旧第一銀行熊本支店の保存・活用問題。同

い。九六年秋まで、熊本中央信用金庫唐人町支店で、今は北九州市のマンション業者が買収した。同トラストはこの建物の保存を訴え、市内に残る貴重な建築物保存の輪を広げたいとしている。シンポは十二日午後二時から、文化庁建造物課の

唐人町)の保存・活用を訴え、シンポジウム「よみがえれ、熊本まちなみ」を開く。

行政だけに頼らず、買い取りなどで保護するナショナル・トラスト運動が手本。

コンクリート造り地下一階、地上二階建。同造りとしては国内初期のもので、当時の銀行建築の様式を残している。また、建設会社が近代的な請負方式を適用した最初の例との指摘もあり、日本近代建築史上、文化遺産としての価値が高い。

その手始めに取り組んでいた。熊本市に点在する近代建築遺産を保

て、その輪を広げたいとしている。入場無料。問い合わせは同トラスト事務局(096-326-6611)へ。



ニュース写真と催しなどの情報をお寄せください

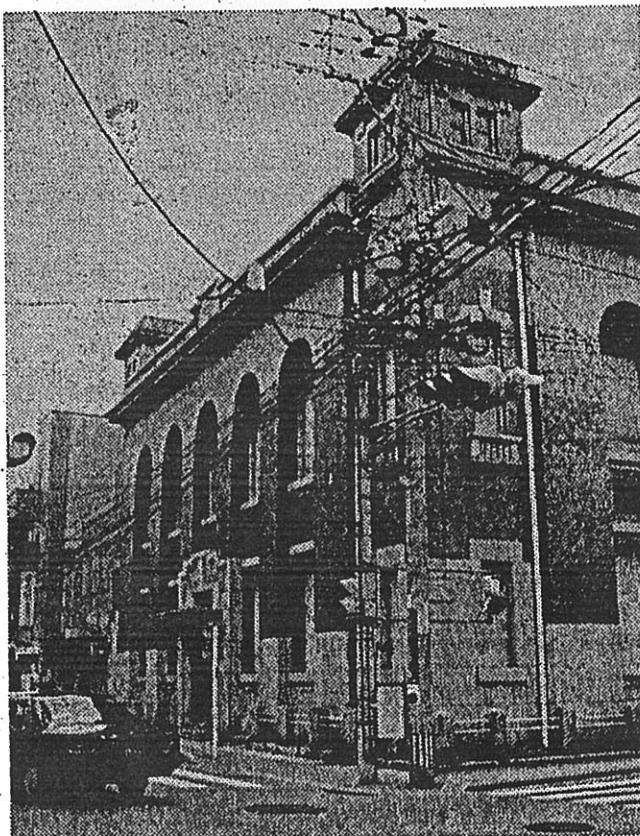
**熊本支局**  
096 (363) 1177  
FAX (373) 0252  
〒862 熊本市九品寺2-1-24  
【通信部】  
荒尾 0968(72)3392  
玉名 0965(63)3529  
阿蘇 0967(8)0226  
八代 0965(35)5761  
保吉 0966(22)3466  
水天 0963  
草木 0969(22)5345  
(※印はFAX兼用)

9.7.11 熊日

◇熊本市シンポジウム「よみがえれ! 熊本まち」12日午後2時から、上通の同仁堂スタジオで。「熊本まちなみトラスト」(石原靖也会長、主催。文化庁建造物課の後藤治調査官と建築評論家の長谷川堯(だかし)氏が講演し、マンション予定地として県外業者に転売された旧第一銀行熊本支店(同市唐人町)など熊本の歴史的建造物の価値や保存方法などを考える。旧熊本市役場など近代建築のパネル展もある。入場無料。問い合わせは同会事務局(096-326)6611富士川さん。

西日本 9. 7. 12

## テーマは旧第一銀行支店の保存



保存をテーマにシンポジウムが開かれる旧第一銀行熊本支店

# よみがえれ！ 熊本んまち

きょう熊本市でシンポ

歴史的価値、活用方法…

市民の日で考えよう

同トラストは、自然環境や文化財などを守るナショナルトラスト運動に賛同する。一方で、民間主体で、歴史的価値のある建築物の保存、買い取りを進める方針。

会場では、かつて熊本に点在していた近畿銀行をはじめ、文化財と代建築物を紹介する写真展の認識が薄いため、安易に解体されがちな近代建築の保存運動を展開していく。

問い合わせは、同トラスト事務局=096(328)6111。

明治、大正、昭和初期のロマンを傳える近代建築を守りたい。熊本市内の経済・文化関係者で発足した「熊本まちなみトラスト」(石原靖也会長)が十二日午後二時から、同市上通町の上通園(東スタンダードオフィス)で、シンポジウム「よみがえれー熊本んまち」を開く。

一九一九年(大正八)年に建てられた旧第一銀行支店(同市唐人町)の保存をテーマに、市民の目から見た熊本のまちなみについて語り合う。

講師は、長谷川亮・武藏野美術大学教授、文化庁文化財保護部建造物課の後藤治調査官を招き、旧第一銀行の歴史的価値、価値、活用方法について論議する。

# シンポジウム／よみがえれ！熊本んまち

旧第一銀行熊本支店の保存・活用を考える

大正8年に建てられた旧第一銀行熊本支店の保存の持つ意味を掘り下げ、熊本のまちづくりの糧（かて）とするために、一緒に考えましょう。

日時：1997（平成9）年7月12日（土）14:00～

会場：上通同仁堂スタジオライフ／096-325-8131

（かみとおり どうじんどう すたじおらいふ）

主催：熊本まちなみトラスト

入場無料

## プログラム

14:00 熊本まちなみトラストの発会にあたっての挨拶

熊本まちなみトラスト会長 石原靖也

14:15 シンポジウム

講 師 文化庁建造物課 後藤 治 調査官  
建築評論家 長谷川 基 氏

このお二人の講師を囲んで旧第一銀行の保存活用の方法などについて語り合います

15:30 市民が語るまちの文化財

16:00 終了

### 講師プロフィール

長谷川 基 氏（はせがわ たかし）

「神殿か獄舎か／相模書房」「都市回廊／相模書房」「建築一雌の視角／相模書房」

「建築の生と死／新建築社」「建築有情／中央公論社」等の著書多数

毎日出版文化賞受賞、現在武蔵野美術大学教授

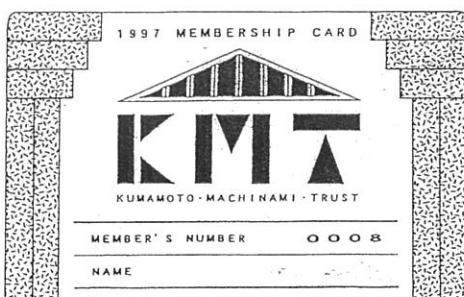
後藤 治 氏（ごとう・おさむ）

1960年東京都で生まれる。1988年東京大学大学院工学研究科建築学博士課程中退。

現在、文化庁文化財保護部建造物課勤務。専攻：日本建築史。

### 会場にてパネル展

失われた近代建築遺産 かつて熊本市内に点在していた近代建築達を写真パネルで紹介

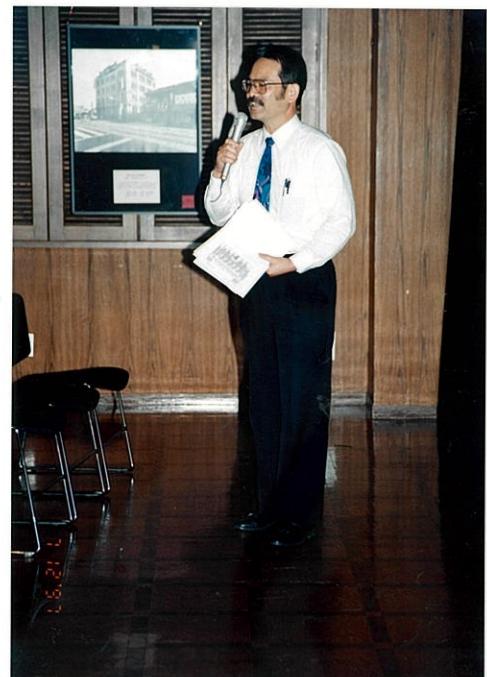


### 熊本まちなみトラスト事務局

〒860 熊本市古川町25-1 (株) 人間都市研究所内

電話096-326-6611 fax096-326-6612

月から金の17:00—20:00／土曜日 14:00—18:00 (富士川、藤本)



# 旧第一銀行支店保存を

熊本市でシンポジウム

## 歴史的建物を守れ！

シンポで保存方法探る

市本川7月13日 調査官と武藏野美大の長谷川教授が講演と意見交換をした。

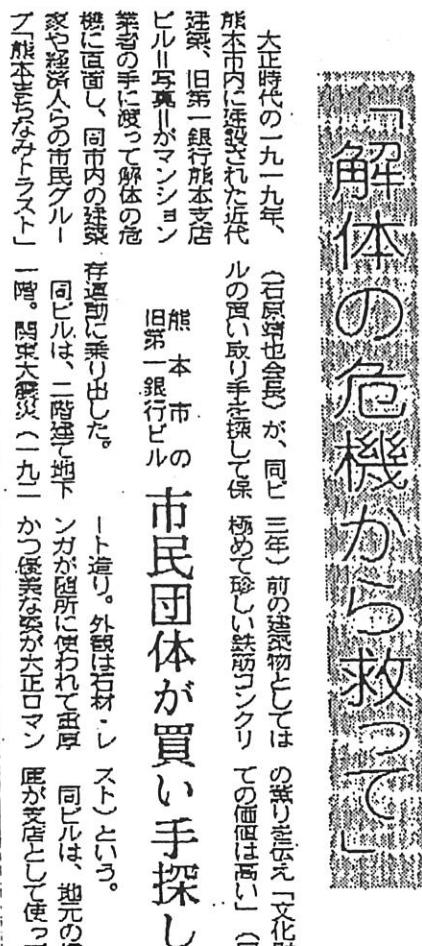
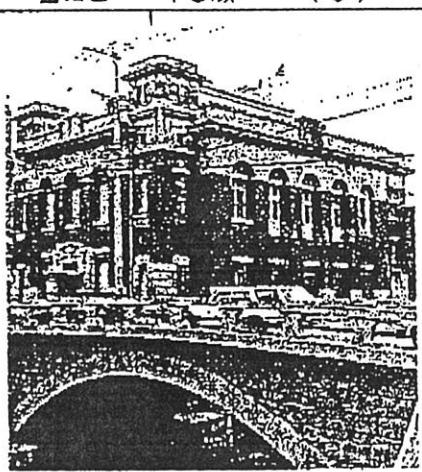
「よみがえれ、熊本んま」を取り組みについて紹介。「登録制度は民間の貴重な建造物保護に役立ち、市民運動がそつした保護を後押しする」とまちなみトラストのであった。

大正時代の一九一九年に建設された旧第一銀行熊本支店の保存・活用を進めている熊本まちなみトラスト（石原靖也会長）が、保存運動に弾みをつけようと企画。同市の建築家や経済人ら約八十人が集まり、今後の運動の進め方などについて話し合った。

シンボには、文化庁建造物課の後藤治調査官と建築評論家の長谷川義氏が講師として参加。後藤氏は国が新たに設けた文化財登録制度や、保護に熱心な欧州の人々約八十人が集まり、今後の運動の進め方などについて話し合った。

西日本

9. 7. 13



熊本の歴史的建造物の価値や保存方法などを考えるシンポジウム「よみがえれ、熊本んま」が十二日、熊本市の上通同仁堂スタジオライブで開かれた。長谷川氏は旧第一銀行ビルの歴史的背景や建築構造を説明。「建築様式がれんが造りから鉄筋コンクリートに変わる過渡期の建物で極めて貴重な文化遺産」と保存の意義を訴えた。

熊本市上通の同仁堂スタジオライブで開かれた。

マッシュン予定地として県外の業者に売却された同

約七十人が参加。富士川

一裕事務局長の進行で、文

化庁文化財保護部の後藤治

が企画した。

約七十人が参加。富士川

一裕事務局長の進行で、文  
化庁文化財保護部の後藤治  
が企画した。

# 建造文化財どう残すか

後藤 治

◇)とおさむ 一九六〇年東京生まれ、東京大学院工学系研究科建築学専攻博士課程中退。専門は日本建築史。著書に「四国のすまい」「建物の見方・しらべ方」江戸時代の寺院と神社」(共著)ほか。



国もある。

明治・大正・昭和の「近代」まで含めでみれば、日本にも人々の思い出や記憶に残るものはまだたくさん残っている。ところがそれ

欧米の町を旅行したり写真でみた時、「日本に比べ美しい」と感じ、「歴史的建造物がよく残り現在も使われている」と驚かされた人は多いと思う。この理由を

## 継承に「民活」不可欠

注目の「まちなみトラスト」

私が関係する「文化財」である歴史的建造物(以下「文化財」といふ)についてみると、この点がよく明るくなる。日本で「文化財」と聞くと、たいていの人は寺社仏閣の古い建物を思い浮かべる。これに対して、歐米では町並みにある歴史的建造物のほとんどが「文化財」として扱われているのである。(つまり、古いものに限らず、二十世紀前半のいわゆる「近代」と呼ばれる時代の建造物を含めた幅広い多数のものが「文化財」なのである。なかには、ごく近年のものまで「文化財」としている



保存を望む声が上がっている旧第一銀行熊本支店の社屋=熊本市中唐人町

登録制度である。この制度は、幅広く多数の歴史的建造物を「文化財」として登録し、最小限の規制の下にそれを後世に継承することを目的としており、平成九年九月現在、既に全国で三百三十八件(うち熊本県は四件)が登録されている。そして、この五年で二千五百件を目標に順次手続きが進められている。

ところで、「文化財」を後世に継承しようとする場合、その担当者や支援者が問題となる。この点でも日本と欧米には大きな感覚の違いがある。日本では、「文化財」は厳しい規制の下にあるので行政が責任をもつてその保存につとめがべき、という意見をよく聞く。

このため、寺社仏閣を除けば、ほとんどの「文化財」は、博物館・資料館の施設(展示品を含む)となり、「文化財」を所有し活用しないよりも容易ではない。「文化財」は、高度利用の面での制約、現代的な利用を図るために改修など、さまざまな問題を抱えている場合が多い。このため、時には所有者が

「熊本まちなみトラスト」の活動は、「文化財登録制度」の将来を考え上で、全国的にみて最もたいへん注目すべきものであり、旧第一銀行熊本支店の保存の盛否をここでその活動が発展することを期待したい。また、こうした活動をどのように行政が支援していくかなど、まだまだこれから欧米に習うことが多いと考えている。(文化厅文化財保護部建造物課文化財調査官)

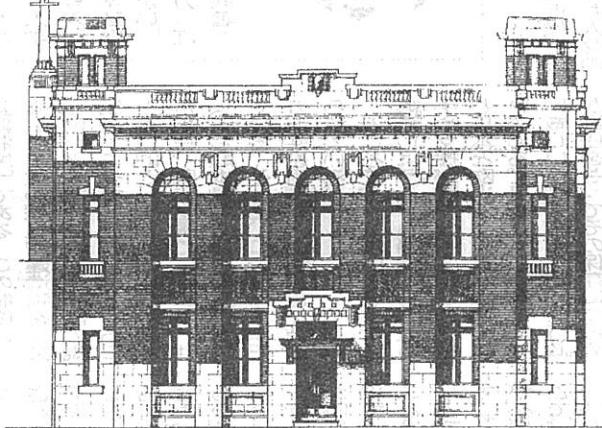
ンターやホテルなどに幅広く利用されており、行政による手厚い支援はさほど行われていない。少し古い言葉になるが、いわば「民活」が導入されており、行政の支援や規制はおもにその円滑化にあわせたものとなっているのである。

熊本では、大正八年建築の近代建造物「旧第一銀行熊本支店」の保存問題を契機に「熊本まちなみトラスト」が活動を開始したと聞く。現在「熊本まちなみトラスト」では、シンポジウムの開催を通して建物への市民の関心を喚起し、その活用の担い手を探しているようだが、既にアメリカでは「しきなり一般の個人や営利企業に「文化財」を所有し活用しないことも容易ではない。「文化財」は、高度利用の面での制約、現代的な利用を図るために改修など、さまざまな問題を抱えている場合が多い。このため、時には所有者が保有の負担に耐えられない状況も発生する。このよろとぎ歐米では、行政の支援に限界があることから、ナンヨナルトラストをはじめとするNPO(民間非営利団体)の活動が、行政と民間所有者との間にたって大きな役割を果たしている。

活用

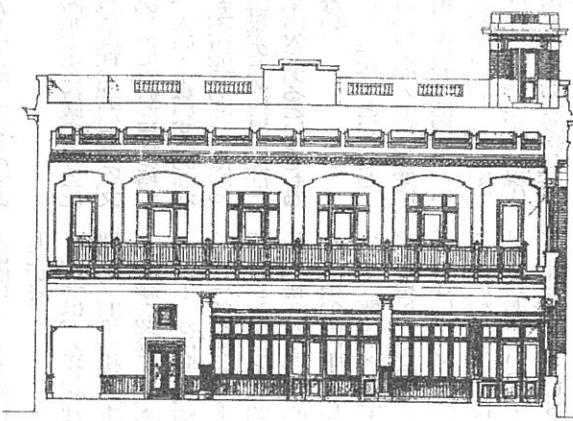
## 旧第一銀行熊本支店の建物を保存しましょう

# 歴史的な建物を市民の財産に



唐人町にある旧第一銀行熊本支店は大正8年から現在まで熊本の町のにぎわいを見つめつづけてきた熊本の文化遺産です  
明治以降の日本の建築の歴史を語るうえでも大切な建物です  
この貴重な建物を守るために、あなたの力を貸してください....

ぜひ、あなたの署名をお願いします



熊本まちなみトラスト

熊本市古川町25-1 古川町シティハウス  
TEL096-326-6611 FAX 096-326-6612

第一交通産業（株）常務取締役  
中島 智俊 様

1997（平成9）年8月27日

熊本まちなみトラスト  
会長 石原 靖也

拝啓、平素は私ども熊本まちなみトラストの活動にご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。

7月24日にお会いしました折りの中島常務様のご指示もあり、市民運動のさらなる盛り上げを図りましたところ、地元自治会長を中心とした保存活動への積極的な取り組みもみられ、行政サイドにおきましても保存の可能性検討を開始していただいた模様です。つきましては、署名を持参しての市長、県知事への陳情まで私達の活動の推移を見守っていただきますよう切にお願い申し上げます。

これまでの経過と今後の予定は以下の通りです

### 1. 7月24日以降の経過

#### （1）署名集め

8月4日（月）～8月8日（金）：署名・世話人へのお願い

8月9日（土）／商工会議所6階会議室：署名集めについての集会  
地元自治会の連合会長さん出席、賛意と協力を表明

8月11日（月）～：署名集め

#### （2）建物利用の方策検討

8月27日（水）：西嶋公一氏、サントリーとの打ち合わせおよび参考例視察のために上京

### 2. 今後の予定

#### （1）署名簿をもって県・市へお願い

各校区の自治会長およびまちなみトラストにより署名簿を持参したうえで県知事および市長へ保存の要望（または陳情）

#### （2）建物利用の方策

サントリー企画書をうけて、西嶋公一氏が検討

ここ数年、明治、大正、昭和初期につくられた、いわゆるレトロな赤れんがや石造りの洋館がどんどん熊本市から姿を消していく。その街の風景として、そこがあり続けたものが突然消え、姿を変える。その建物と風景にからむ記憶も思い出も同時に消えてしまう。悲しい話である。

日本の経済成長は、スクラップ&ビルドという概念を街並みに持ち込み、より効率の高い建物を要求することになった。その効率神話の前には、石に刻まれた細かいデザインもれんがの温かみも何の役にも立たない。それが突然、その街の風景として、そこがあり続けたものが突然消え、姿を変える。その建物と風景にからむ記憶も思い出も同時に消えてしまう。悲しい話である。

## まちなみトラスト

# くまもと豊談



石原 靖也氏

た旧第一銀行がそれで、大正ロマンをしのばせる存在感あふれる建物が、マジックアートとして取り壊しの危機にさらされている。取り壊しの情報を受けた以外に手はなさそう

に、有者にとって大事な経営資産である限りは、取り壊しを妨げることはできない。今はとにかく、署名活動などを通じて市民運動の輪を広げ、行政への理解を求める。

熊本大や専門家の間で調査が進められ、建築学的に重要性が立証された。これがえのない自然を保護してきたように、「熊本まちなみトラスト」もかけがえのない建物の必要性を訴えている。

ただし、明治村のように建物を隔離保存するのではなく、われわれとともに生き、皆の記憶を引き受け、子どもたちの財産としてもその街に存在し続けてほしいと切に願う。

そうした建物は、楽しい建物の保存の可能性を探ることになった。レストランを含めいくつものアイデアが検討されたが、民間での再活用には限界がある。細かいデザインもれんがのある方

# 記憶との共生求めて

## 再活用の方策あるはず

感性の違いをいやといふほど感じさせられてしまう。

日本ではどうなことを指すのだろう。

き込んだ「熊本まちなみトラスト」が設立され、この

当時の日本の経済状況は、現在と比較すれば劣悪であったはずなのに、あのゆとりはどこから来るのだろう。

いま日本でも、白壁や赤れんがの町並みや建物を新たな観光スポットとして活用する動きが始まっている。生まれ変わったレスト

ランやギャラリーや店舗の多いを残す熊本市中唐理があることが分かった。

(熊本まちなみトラスト  
会長、東光石油副社長)

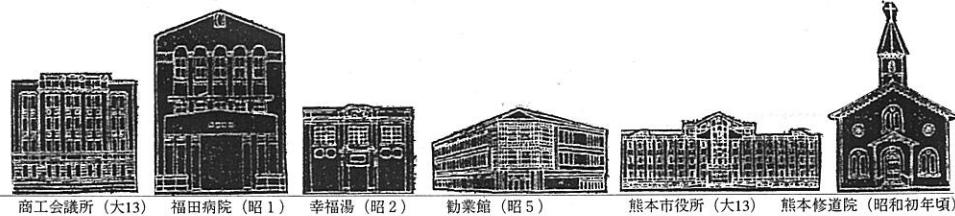
おしらせ

## 写真展失われた近代建築遺産

とき：1997年8月11日(月)～8月30日(土) (日曜休み)

ところ：ギャラリー桜樹 (10:00～19:00)

熊本市桜町1-20 西嶋三井ビル2階 でんわ 324-5340



## 写真展 失われた街の建物

～旧第一銀行熊本支店社屋（唐人町）の保存をめざして～

とき：1997年9月9日(火)～9月15日(月)

ところ：鶴屋百貨店1階 サテライトスタジオ横 ステップ画廊

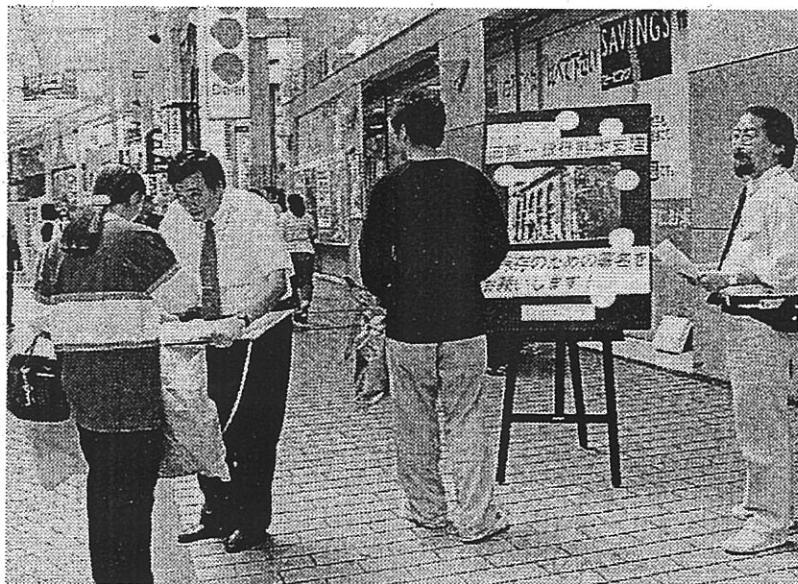


現存する貴重な建物を守るために、あなたの力を貸してください....

唐人町にある旧第一銀行熊本支店社屋の保存のために署名運動を行っています

写真展の会場に署名用紙を用意しました。ぜひ、あなたの署名をお願いします

# 旧第一銀行熊本支店の保存を 街頭で署名呼びかけ



旧第一銀行熊本支店の保存に向け署名を集める  
まちなみトラストのメンバー

同支店は一九一九年、日本最初の銀行・第一銀行が九州初の支店として建築。当時としては珍しい鉄筋コンクリート造りで、石材やれんがも随所に使われ、デザインも貴重とされる。昨年十月まで、熊本中央信用

歴史的建築を市民の財産に。明治、大正、昭和初期のロマンを伝える近代建築物の保存運動を進める「熊本まちなみトラスト」(石原靖也会長)が二十日、熊本市の下通商店街で、旧第一銀行熊本支店(同市唐人町)の保存活用に向けた署名を呼びかけた。

金庫唐人町支店に使われていたが、現在はマンション建設で解体の危機にある。このため、同トラストが今月中に県、市に文化施設としての活用などを陳情することになった。

署名運動には、同トラストメンバーの建築士や会社社長ら約十人など、熊大工学部の学生六人が参加。「安易に解体されがちな近代建築を後世に残し、市内に文化施設を増やすためにも署名に協力してほしい」と呼びかけていた。署名は九月末まで、五千人を目指す。

また、十月一日から七日

まで、同市上通町の上通郵便局プラザⅡで、解体された近代建築物二十一点の写真展「失われた街の建物」を開き、協力を呼びかける。問い合わせは同トラスト(0960(326)6611)。

## 趣意書

熊本の街の歴史とともに生きてきた建物が姿を消そうとしています。平成8年の秋まで熊本中央信用金庫唐人町支店として使われていた旧第一銀行熊本支店の建物が取り壊されようとしているのです。

この旧第一銀行熊本支店の建物は大正8年に建てられ、レンガ造りと当時の最新技術であった鉄筋コンクリート造りの折衷という珍しい工法が採用されています。また、当時熊本一の繁華街であつた唐人町の一角にあり、熊本の繁栄を物語る歴史の証人でもあります。今も街の顔として地域の人々や唐人町通りを訪れる人々に親しまれています。街の歴史を語るうえでも、街の風景を語るうえでも、大変貴重な建物なのです。わが国の近代建築史を研究する第一人者の方々からもぜひ残してほしいという声が高まっています。

私達は、近代都市熊本の歴史を見つめてきたこの建物を、市民の財産として後世に伝えるべく、保存し活用することを強く訴えます。

趣旨にご賛同いただけますならば、是非とも署名をお願いいたします。

皆様からお寄せいただいた署名を取りまとめ、県・市をはじめ関係諸機関に対して旧第一銀行熊本支店の建物の保存の必要性を訴えます。

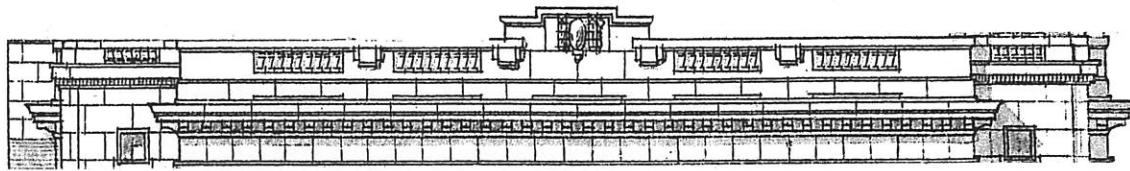
### 世話人

五福校区自治会連合会長	寺本羊次郎
慶徳校区自治会連合会長	佐伯洋興
一新校区自治会連合会長	村上敏行
株式会社古莊本店取締役社長	古莊善啓
出田眼科病院理事長	出田節子
大石薈麦主人	大石健二
合名会社豊住葬祭代表	井石二子
熊本商工会議所専務理事	内野桂子
熊本工業大学教授	酒井義健
熊本県文化懇話会代表	原浦清一
熊本工業大学教授	原靖也
熊本大学教授	明隆
熊本まちなみトラスト会長	三堀洋之

右の趣旨に賛同し、署名します。

お名前

ご住所



## 旧第一銀行熊本支店社屋 を活用していただく使い手を探しています！ 賃貸、買取りいずれも可能です

### ■旧第一銀行熊本支店社屋の概要

1. 敷地地番 熊本市中唐人町1番地  
面積 585.23m<sup>2</sup>(177.03坪)

2. 建物面積  
2階 150.67 m<sup>2</sup> (45.57坪)  
1階 331.77 m<sup>2</sup> (100.36坪)  
地下1階 150.67 m<sup>2</sup> (45.57坪)  
合計 633.11 m<sup>2</sup> (191.51坪)

#### <附属建物>

2階 108.26 m<sup>2</sup> (32.74坪)  
1階 106.09 m<sup>2</sup> (32.09坪)  
地下1階 93.46 m<sup>2</sup> (28.27坪)  
合計 307.81 m<sup>2</sup> (93.11坪)

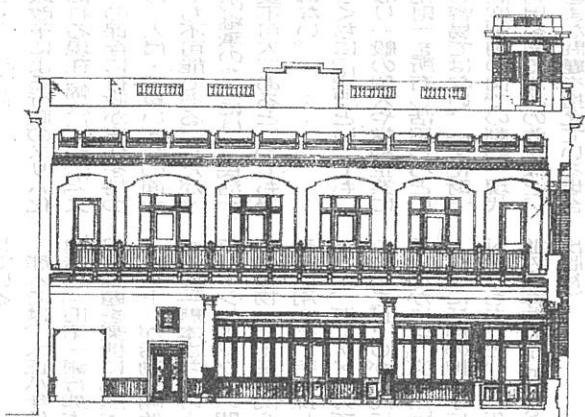
---

■連絡先／熊本まちなみトラスト  
事務局 (株)人間都市研究所内  
熊本市古川町25-1古川町シティハウス2F  
TEL096-326-6611/FAX096-326-6612

活用

# 旧第一銀行熊本支店の建物を保存しましょう

# 歴史的な建物を市民の財産に



唐人町にある旧第一銀行熊本支店は大正8年から現在まで熊本の町のにぎわいを見つめつづけてきた熊本の文化遺産です

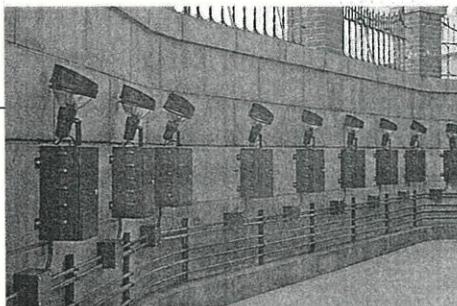
明治以降の日本の建築の歴史を語るうえでも大切な建物です  
この貴重な建物を守るために、あなたの力を貸してください ...

ぜひ、あなたの署名をお願いします

# 熊本まちなみトラスト

熊本市古川町25-1 古川町シティハウス  
TEL096-326-6611 FAX 096-326-6612

## 福岡市 赤煉瓦文化館



### 概要

赤煉瓦文化館は、福岡市民の文化サロンとして、会議や各種展示会に幅広く使用されている。建物の歴史は古く、当初「日本生命九州支店ビル」として明治42年に建築された。昭和44年には、福岡市の所有となり、名称も「歴史資料館」と改称され、その後、平成6年2月に赤煉瓦文化館として新装開館されたものである。

欧風建築の外観は、通行人の視線を釘づけにする威風堂々としたもので、国指定の重用文化財でもある。

現在の文化サロンとして新装開館するにあたり、市民に、夜景も楽しんでもらおうとの意図でライトアップ設備が同時に施工された。  
(写真-1)



## 資料

### ●日本ナショナルトラストの活動と〈ヘリティジセンター〉の紹介

財団法人日本ナショナルトラストは、国民的財産である貴重な自然景観やかけがえのない文化財・歴史的環境を保全し、利活用しながら後世に継承していくことを目標に、英國の環境保全団体であるナショナルトラストを範として1968年12月に設立された公益法人です。市民参加による保護対象の取得・修復・整備・管理・公開などの保護活動を積極的におこなっています。

- 1984年特定公益増進法人(免税団体)に認定
- これまでの保護事業 36件
- これまでの調査事業 164件
- 募金・寄贈により取得した保護資産 6件
- ヘリティジセンター 2ヶ所

#### 日本の伝統を支える匠の技 (1989年) ヘリティジセンター 飛驒の匠文化館 —岐阜県古川町 Hida no Takumi H.C. (Gifu Pref.)

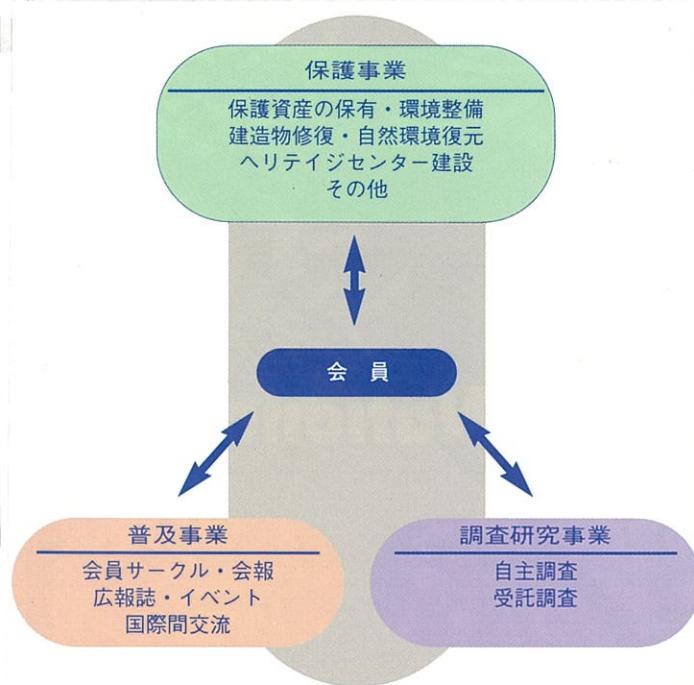


かつて傑出した技法で神社仏閣の造営に活躍した飛驒の匠たちの技術を今に伝える飛驒古川の町並み。この歴史的環境を活かした町づくりの拠点として、飛驒の匠の技を結集し建設。技を育んだ道具類は人気の的。(公開中・会員は無料)

#### 歴史とロマンを秘めた古道 (1986年) ヘリティジセンター 葛城の道歴史文化館 —奈良県御所市 Old Katsuragi Road H.C. (Nara Pref.)



大和盆地の西側、金剛葛城山麓にある古代の歴史とロマンを秘めた葛城の道。その環境を保全し利活用する拠点として建設しました。地域ぐるみで運営され、自然観察会や古道を歩く会などのイベントが催されています。(公開中・無料)



#### おもな調査対象

- ① 五島の初期教会堂—長崎県五島
- ② 旧中山道—東京都～京都府
- ③ 旧東海道—東京都～京都府
- ④ 竹富島の町並み—沖縄県竹富町
- ⑤ サロベツ原野—北海道
- ⑥ 緑川流域の石橋群—熊本県砥田町
- ⑦ 中島川と石橋群—長崎県長崎市
- ⑧ 小樽運河と石造倉庫群—北海道小樽市
- ⑨ 琴引浜の鳴砂—京都府網野町
- ⑩ 貞光の町並み—徳島県貞光町
- ⑪ 須坂の町並み—長野県須坂市  
(他153件)

#### おもな保護対象

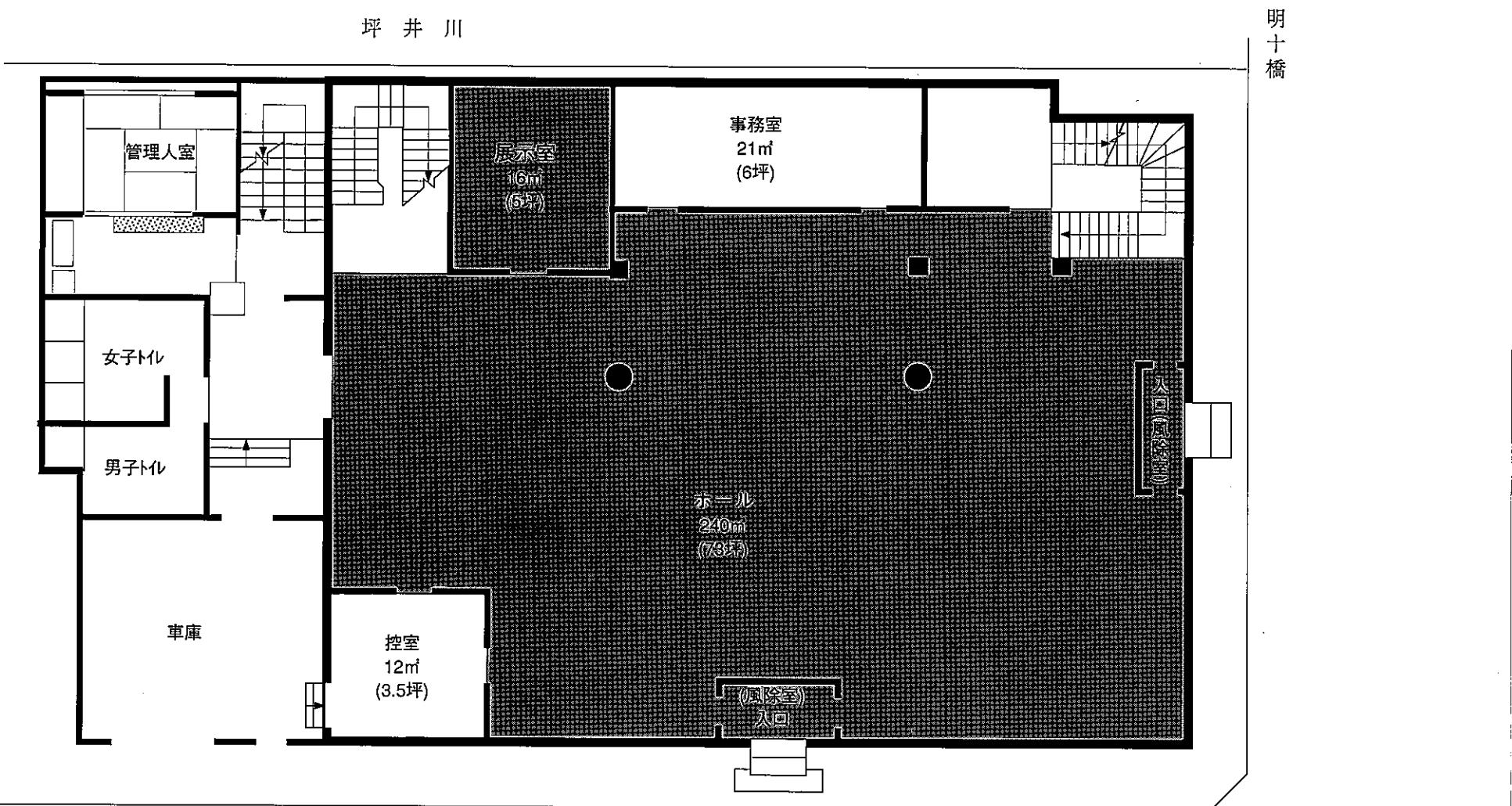
- ① 天心遺跡記念公園—茨城県北茨城市
- ② トラストトレイン—静岡県大井川鉄道
- ③ 白川郷合掌造民家旧寺口家・旧松井家—岐阜県白川村
- ④ 大平宿の町並み—長野県飯田市
- ⑤ 名勝旧大乗院庭園—奈良県奈良市
- ⑥ 卷機山—新潟県
- ⑦ 法輪寺三重塔—奈良県斑鳩町
- ⑧ 石川啄木旧居—岩手県玉山村
- ⑨ 賴山陽史跡山紫水明處—京都府
- ⑩ 飛驒の匠文化館—岐阜県古川町
- ⑪ 葛城の道歴史文化館—奈良県御所市  
(他25件)



# 3

旧第一銀行熊本支店

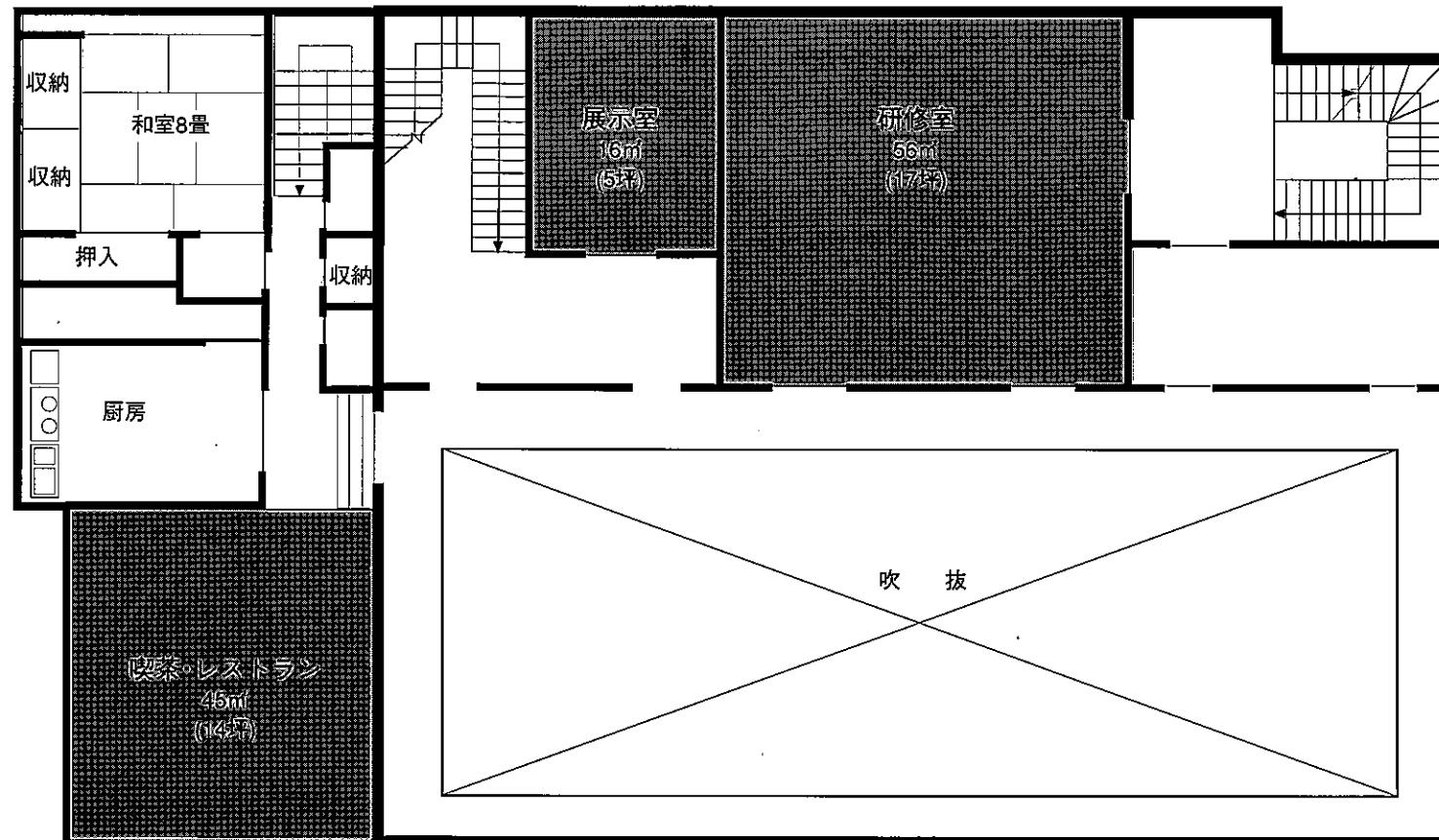
再利用に関する提案



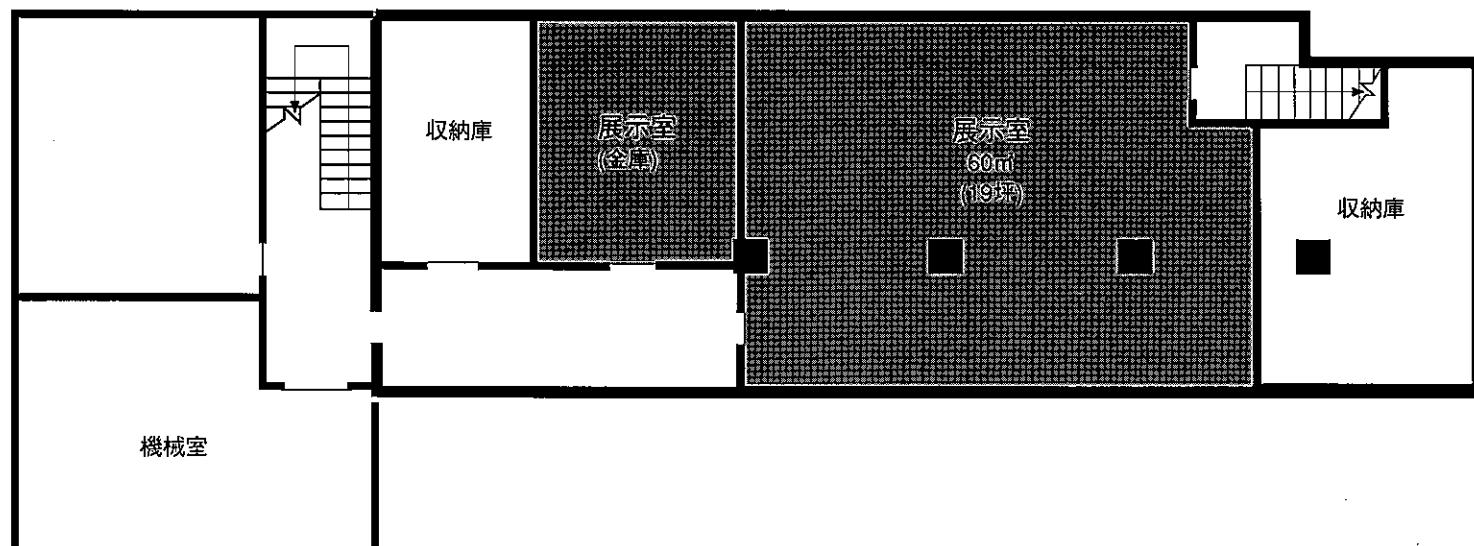
唐人町通り

1階平面図

BF 2F



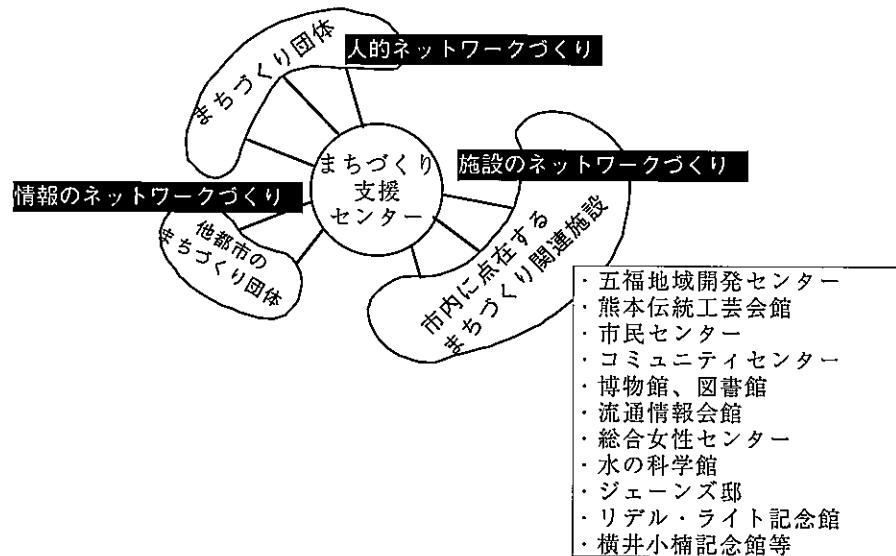
2階平面図



地階平面図

# 3-2 旧第一銀行熊本支店の再利用の方法 ケース1 まちづくり支援センター

## 1 設立の理念（コンセプト）



- ①行政・住民・企業の中間的な位置で、住民の立場にたって、総合的な調整、情報提供を図る。
- ②住民主体のまちづくりグループを支援する。
- ③参加のまちづくりを推進していく「場」とする。

## 2 施設の運営

区分	想定される機関（例示）
土地・建物の所有者	熊本市
施設の管理・運営	熊本市・地域づくり推進課（出向）／熊本市内まちづくり団体／熊本まちなみトラスト
管理費の捻出	熊本市一般会計 まちづくり団体、熊本まちなみトラストからの募金

## 3 制度・手法の適用

- ・まちづくり情報センター（建設省提唱）
- ・街並み・まちづくり総合支援事業（建設省）
- ・民活法による助成制度（ニューメディアセンター、インテリジェントビル）
- ・文化財登録制度（文化庁）

# ケース1 まちづくり支援センター

## 事例

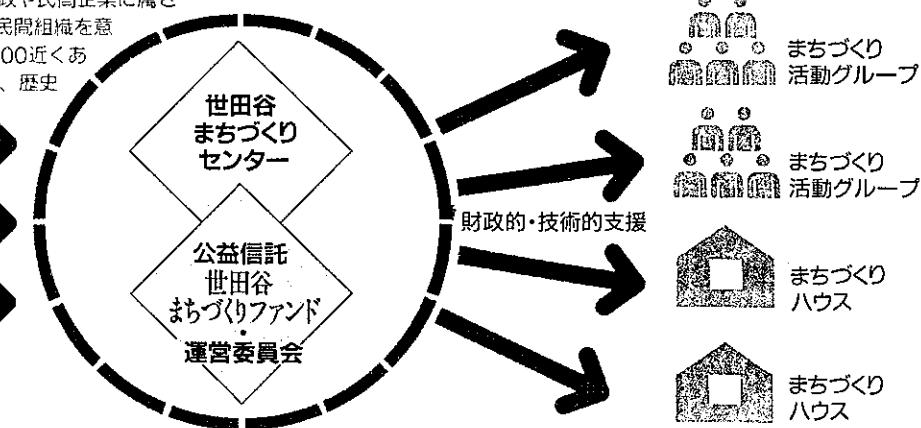
### 世田谷まちづくりセンター

- ◆区民のみなさんの自主的なまちづくり活動に対する財政的・技術的支援
- ◆公共施設(建物・公園・道路など)の計画・建設における住民参加
- ◆民間などが行なうまちづくり計画に関する相談
- ◆まちづくり勉強会やイベントの実施
- ◆まちづくりに関する書籍・ニュースなどの編集・発行
- ◆国内外のまちづくり事例・情報の収集と提供
- ◆まちづくりに関する調査・研究

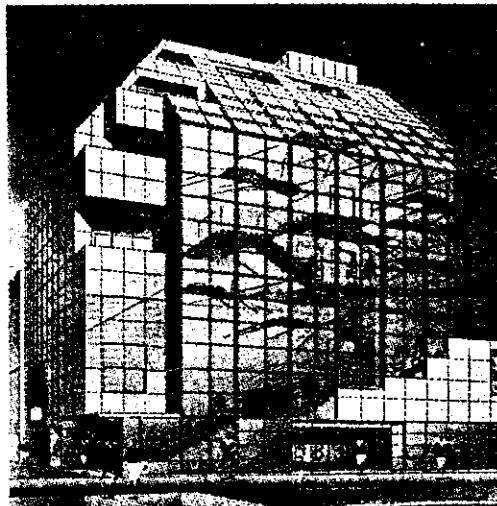
\* NPOとは、Non-Profit Organizationの略称で、行政や民間企業に属さず、社会的に必要な公益的活動をする市民による非営利の民間組織を意味する。たとえば米国ではまちづくりに関するNPOが5000近くあるといわれ、その活動範囲も、地域計画づくり、住宅供給、歴史的建造物の保全、オープンスペースの創出、市民農園づくりなど、多岐にわたっている。

企業  
区民

寄付金・  
補助金等



### [こうべまちづくり会館]



階	施 設	面積
6	会議室（大） 会議室（小）	43帖 37帖
5	事務室	181帖
4	まちづくり情報センター コミュニティ相談センター	263帖
3	まちづくり情報センター	263帖
2	ホール	104帖
1	インフォメーション 市政情報コーナー 交流サロン	254帖
B1	ギャラリー	178帖

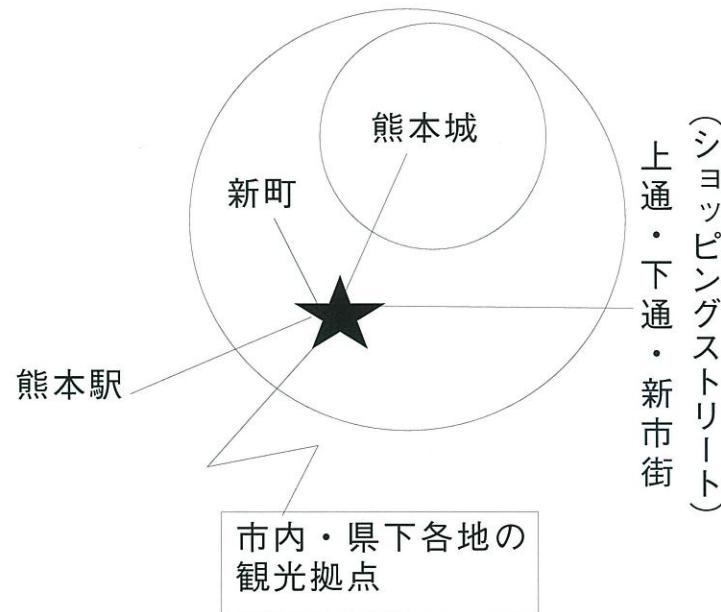
ギャラリー、ホール、会議室は専用面積

### [名古屋都市センター]

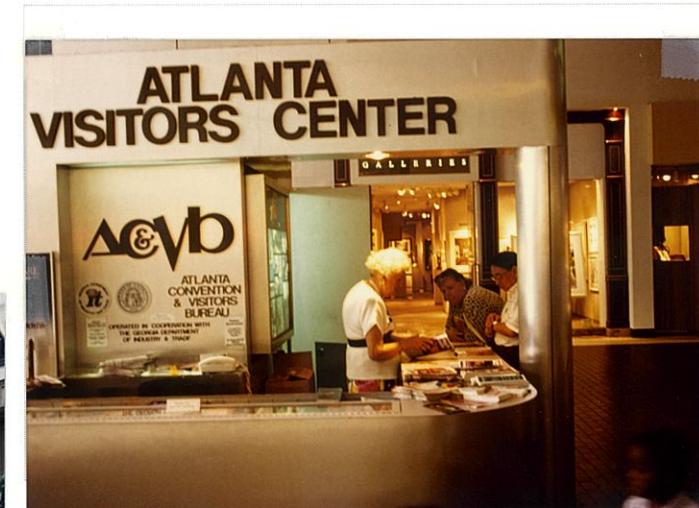


ホテル東京会場 (約31,000m <sup>2</sup> )
名古屋都市センター床 (約5,000m <sup>2</sup> )
名古屋ボストン 美術館床 (約4,000m <sup>2</sup> )
展示面積 約40,000m <sup>2</sup>
エントランス
公共駐車場 約200台
附属施設料亭 約200台

## 1 設置の理念（コンセプト）



「i」 = 旅行者のための情報センター  
ヨーロッパ、アメリカの諸都市では、街なかに数ヶ所あり、宿泊や訪問先の情報を得るためにには、旅行者にとってなくてはならない所となっている。

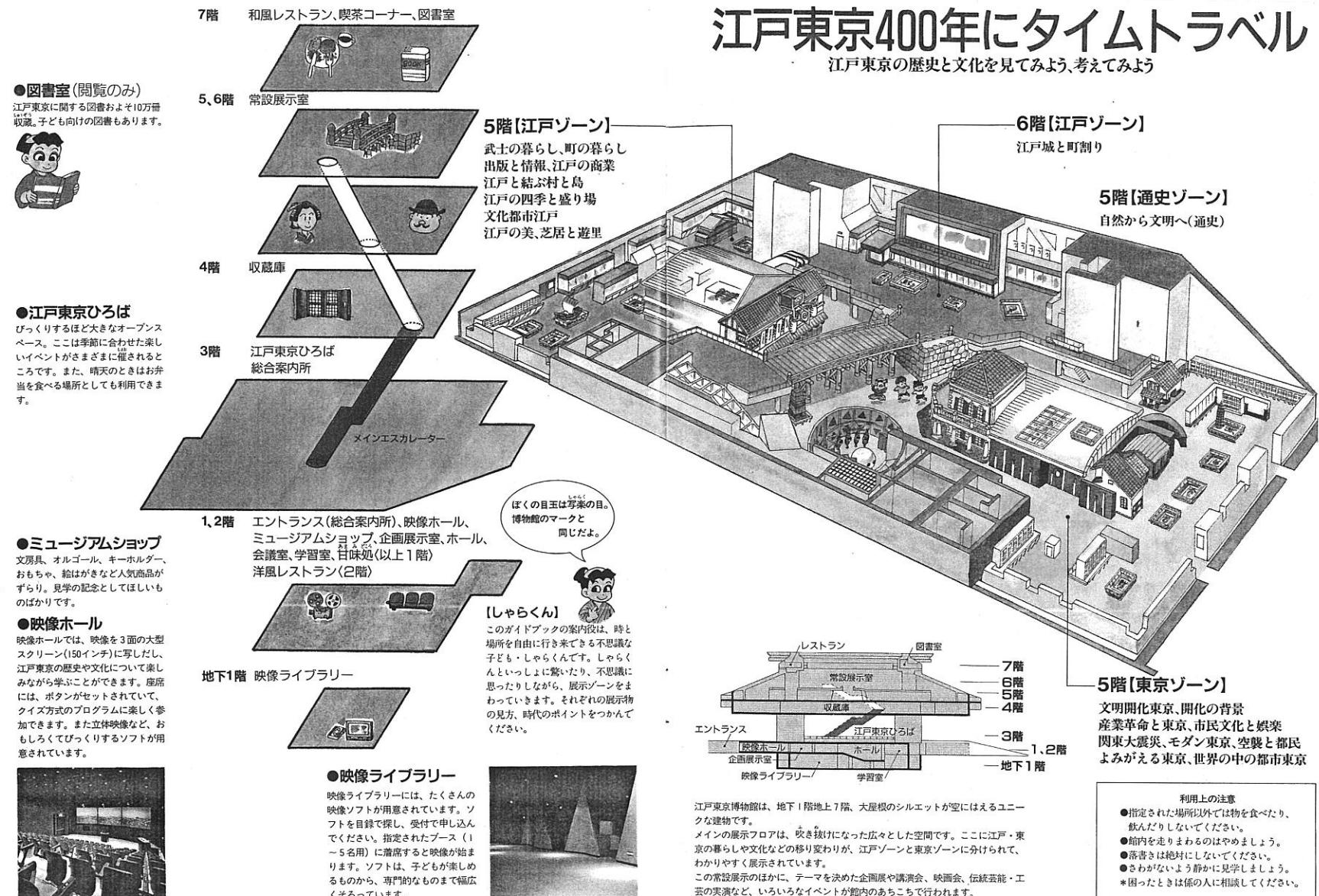


サンアントニオでもアトランタでも「i」は街なかにあり、建物に付属した駐車場はない

- ① i システムの整備  
観光情報サービスの提供
- ② 城下町観光の拠点  
歴史紹介（写真、絵地図等）  
物産展示即売
- ③ イベント会場  
コンサート、展覧室、物産展

# 旧第一銀行熊本支店の再利用の方法 ケース3 くまもと文書館／市史編さん展示室

## 類似例／江戸東京博物館



陳情書

熊本市長 三角 保之 殿

第一銀行熊本支店建物の保存に関するお願いについて

要旨

昨年十月まで信用金庫支店として使われてきました唐人町にある旧第一銀行熊本支店の建物が、土地の処分にともなつて姿を消そうとしています。しかし、八十年もの長きにわたり市民に親しまれてきたこの建物が、今後の熊本のまちづくりにとつて欠くことのできない貴重な資源であることを考えますと、このまま取り壊してしまってはあまりにも惜しい文化財であります。したがつて、この建物を保存し活用していく何らかの具体策を早急に御検討いただきますようお願ひ申し上げます。

開設した支店の社屋として、大正八年（一九一九年）、近世城下町のたたずまいを色濃く残しながら近代化を進めつつあつた熊本の街にさつそとその姿を現しました。設計者西村好時は、後に次々と主要な銀行建築の設計に携わることになりますが、この建物は氏の初期の代表作であり、軽快なアーチ窓や壁の装飾に大正時代の自由で伸びやかな雰囲気がただよっています。因みに、同じ設計者により大正十年に竣工した第一銀行函館支店の社屋は現在、函館市文学館として保存・活用されています。また、唐人町通りのこの建物は、関東大震災前の当時としてはきわめてめずらしい鉄筋コンクリート造の構造であること、施工を請け負つた清水組（現在の清水建設）が、初めて近代的な契約を結んで行つた工事であつたことなども特筆すべきこととしてあげられます。

このようないくつかの建築物そのものの価値に加えて、この建物が熊本の都市の魅力を増していくうえで極めて重要な位置にあることを考え合わせることが必要と思われます。すなわち熊本の市街地の中には、熊本城を取り囲むように今も歴史の息づく場所が点在していますが、それらの歴史スポットをつないでいく「歴史回廊」を構想したときに、船場橋から泰平橋に至る南北のルートと東西に走る唐人町通りが交差する明十橋際にこの建物が位置しているということです。この「歴史回廊」は、総合計画でも取り上げられていますように、熊本の将来のまちづくりの基本的な考え方の一つと考えられますが、その要となるのがこの旧第一銀行熊本支店の建物です。

以上のような事情を宜しく御勘案下さり、熊本市におかれましても、関係機関と御協議のうえ、旧第一銀行熊本支店社屋に新しい使命と末長き生命が与えられるよう、特段の御配慮と御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

平成九年  
月 日

世話人

同 同 同 同 同 同 同 同 同 話

五福校区自治会連合会長	慶徳校区自治会連合会長	一新校区自治会連合会長	株式会社古莊本店取締役社長	出田眼科病院理事長	大石蕎麦主人	合名会社豊住葬祭代表	熊本商工会議所専務理事	熊本工業大学教授	熊本県文化懇話会代表世話人	熊本工業大学教授	熊本大学教授	熊本まちなみトラスト会長
-------------	-------------	-------------	---------------	-----------	--------	------------	-------------	----------	---------------	----------	--------	--------------

石北福三堀永酒大出古村佐寺  
原野原浦内野井石田莊上伯本  
靖昌洋清義健桂節善敏洋次  
也隆明一治之二二子啓行興郎  
⑬⑫⑪⑩⑨⑧⑦⑥⑤④③②①

⑬ ⑫ ⑪ ⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①